

動画タイトル：緊急会議ライブ配信～参議院議員会館講堂で行います。たくさ

んの方のご参加、お待ちしております

2023年3月29日 参議院議員会館 講堂

立花孝志

集まりいただいてありがとうございます。ちょっと、まあ、今、資料を渡してるんですが、あの一、ま、今日、僕自身が、あ一、ま、これは一応、今日は、あ一、政治家女子48党の事務局長、ま、管理をしているというところで、まず、その組織のお金の今、状況について最初に説明をさせていただきたい。ま、これを、ちょっと、まあ一、ずっと隠してたわけじゃなくて、まず、この全体をやらないとどうしようもできないというところで、今、これ、スライドで映ってんのかな。そうですね、ま、あの、手元の資料、ちょっともう早急に作ったんで分かるぐらいですが、左上の資金残っているのが、0.24、これ、あの、億単位なんで、2400万しかありません。はい、0.24というのは、2400万、つまり、残金通帳に残ってるのは、2400万しかありません。あの一、統一地方選挙前のところ、というのと、

ま、4月の20日に、8300万円ほどの、お一、ま、8300万円の、政党助成金が入るので、ま一、あと1ヶ月もしないうちに、この資金残は、1億になるということなんですけども、お一、まず、資金残が、2400万しかありませんと。で、その下の、2019、2020、2021って、こう、横並びになってる、これが、年度ごとの、政党助成金の、お一、入りの部分です。え。2019年のところの、下、0.6っていうのが、ま、6000万円というものです。で、え一、その次が、1.4というのは、1.4億円、え、次が、あ一、2020、1.5、1.4、0.1となっていてますけども、

立花孝志

この一番上の、0.6、1.4、1.5、2.6、3.4、2.7、2.1、1.3、1.3、0.6、これが、え一、それぞれの年の、受け取る政党助成金の額、受け取った、あるいは、これから受け取るものです。で、え一、黄色の部分が、これから受け取るものということで、右側の未支給ということ、で、11.4というのが、あ一、もう、この後、選挙、何もしなければ、しないとして、え一、もう、何もしないければ、まあ、11.4億入ってきますよ、という、数字です。だから、ま一、あの、この国政政党、政治家女子48党は、え一、5年間、あの一、何も動かなければ、11億4000万円、入ってきますよ、で、その下の、ま、その下というか、ま、一応、内訳が、2019年に、0.6、この、0.6、1.4、1.4というのは、2019年の時に獲得し

た、あー、政党助成金で、0.6、1.4、1.4、1.4、1.4、1.4、0.8 っていうのが、ま、あ、の、獲得した年と、最終年は、端数が、月割りが出るので、まあ、この、1.4 っていうのが、実質、年間の、政党助成金を受け取った額ということです。

立花孝志

えー、2021 年からスタートしてる 2 段目、0.1 から始まって、0.7、0.7、これが衆議院のもので、その 1 番下の 0.5、1.3、1.3、1.3、1.3、1.3、0.6 っていうのが、去年の参議院選挙での、おー政党助成金と。ま、ざっくりわかりやすく言うと、2019 年は 1.4 億円の政党助成金年間もらえると。で、えー、前回の衆議院選挙は、年間 0.7 億円の、おー政党助成金がもらえると。ま、これはいつまでかわかりません。最大 4 年です。

立花孝志

で、えー、1 番下の 0.5 から始まって、1.3、1.3 は、1.3 億円の政党助成金が、前回の参議院選挙で、えー、獲得したということになります。で、まだ、受け取っていない、お金が、11 億 4000 万円です。ということです。

で、その次の、おー、左上が、333 人ってなってるのが、現在、333 人の方に、10.4 億円の借金があります。で、利息を、このまま、年間、5000 万円、3 億ぐらいの利息があるので、まあ、借金と利息では、今の状態で、仮に、この党を何もしなかったとしても、赤字になるまま、元本は、保証はできますよ、というところであります。えー、で、最大、4000 万円の人が 1 人と、1000 万円の方が 21 名、えー、逆に言うと、ほとんどの方が数 100 万円から 500 万とか、そんなに大した額を、ま、か、大した額って、失礼かもしれませんが、1 人から 1 億とか、そういう借り方はしていません。

立花孝志

え。その下の議員報酬のところについては、これはもう、齊藤さんと浜田くんがこれからもらえる部分で、3.32 億円ですけど、ま、これは党の金ではありませんので、参考までに試算したものです。で、えー、その下の方の、おー、黒川大津って書いてるんですけども、これ、えー、先般決めたですね、黒川くんに対して 130 万円払った場合の 5 年間で、大津党首に 100 万円払った場合の 5 年間ということで、ここでも、約 2 人で 1、5 億円ぐらいの、まー、支出が出ると、で、まー、ここ、これで、大体、ま、何が言いたいか、ま、下のと、ランニングコストっていうのが、この 1.4 始まる給料、社会保険、司法書士、えー、家賃、その他っていうとこなんですけど、これが、あー、月々、大体、1200 万から、年間にして、1.4 億円、今、まー、お給料とかっていうことですね、出ていくってことで、まー、党の運営としたら、もう、このまま潰してしまえば、ちょうどチャラぐらいです。何もしなければ、ちょうどチャラになって、僕は、えー、一昨日ですね、えー、大津党首と、黒川、あー、幹事、幹事長から、えー、佐藤さんも途中に入っていただ

いて、まあ、あの、あの日ですね、ライブでやらなかったことを非常に後悔をしていて、反省もしております。ま、なぜライブでやらなかったかっていうのは、まあ、黒川さんと、ま、大津さんにも、月々100万円と130万円お渡しすれば、えー、代表権を元に戻してもらえと思ってました。

立花孝志

結構簡単にそれ戻してもらおうと思ったんですが、まー、あー、大津さんから、あー、戻すというお話をいただいたんですが、ただ、もうこのまま行くと、この左上の資金2400万円が、返金希望が来ると、直ちに取り付け騒ぎになりますよということを一昨日の段階では言っていたんですけども、えー、実際、今日も、もう2人返金希望が来て、1人が1000万円、もう1人だかわかりません、返せないですよ。

立花孝志

ということで、えー、ま、ポイントとしたら、もう、党として、資金がないです。

大津綾香

いいですか。これも、なんか、私に渡すって言って、ああ、立花さんの給料から引かれるって言ってたことですよ。だから、そこから何が、より、100万円私の給料が引かれるってわけではないですよ。まずね、私が100万円くださいとは言っていないですよ。

立花孝志

はい、そうですね。うん、はい

大津綾香

はい、そこだけちょっと。

立花孝志

うん、だから、あの、僕、一昨日の会議について、こうは、公開してなかったのは、えー、まあ、そこは、100万円というところで、まあ、どういう反応になるのか、ていうか、もう本当に、そこでぎっくりと代表権が渡るっていうことであればね、全然、こういう、今日もやろうとは思ってなかったんですが、まー、その後、あの、大津さんの方からは、今朝話をして、えー、まー、もう金曜日とか土曜日までなりますよということで、ま、どうしても紙だということなんでね。

で、もう、そうになると、おそらく取り付け騒ぎが来るだろうなと思っていて、今に至ります。それは、あの、そもそも立花が代表を辞めることによって、代表権を失うことによって、多くの方が不安を感じるの私もわかってました。でえー、先日の黒川幹事長と大

津さんの、まああー、いわゆる政治資金パーティーというもの、ここについては、まあ、あの一、もう1度繰り返しかないと、一昨日9時間ぐらい来たんで、あそこにいた人は、あの一、もう。ってなりますけども、私は政治資金パーティーをしてもいいと言っています。どうぞやってください。なんら問題ありません。ただ、脱税や風俗営業法違反になるようなパーティーは政治資金パーティーなんかでやられたら困ります。ダメです、それは別に、一社会人として、真つ当な法律を守れる人間として、大津党首にも黒川幹事長にもそれは忠告しました。はっきりとダメですと言いました。やっていいと言った後に、内容を聞いて、ダメですと言いました。しかし、それを無視し、Youtubeでそれを公開し、そしてそれが、私は、これは犯罪になりますよ、詐欺罪になりますよ。風俗営業法違反の可能性もありますよ。ま、風俗営業法ないにしても、少なくとも脱税になるでしょう。あ、でも、それについて、まあ、黒川幹事長からも大津党首からも弁明はありましたが、それに対する対処が出てないです。

立花孝志

僕は直ちに代表権を返してもらわないと危ないですよと何度も言いましたよね。

そのために、とりあえず、まー100万円で納得してもらおうと思いました。だから、ちょっと中でやっちゃいました。いわゆる密室で。

ただ、よくよく考えたら、こんな大事なことを密接にやる必要性があったのかって。やっちゃいかんことをやっちゃったよね。

今までの我々の中で来てね。全く何も隠すこともなくやってきた。国政政党としてね。

立花孝志

そもそも黒川くんに130万円を出す必要があるのかどうかっていうことも、今日こうやって皆さんに聞いてもらった方がいいだろうという思いで、今日この場を設けさせてもらいました。で、あの一、私はもちろん大津さんに党首を引き継いだわけですから、あ一、全ての原因は僕にあって、僕ができることをやらなきゃいけないという思いで、今日この会議というか、一方的な話をしています。ただ、この大きさは結構重大です。

立花孝志

僕ならお金借りる自信あります。僕なら返してくださいって言う人を止める自信があります。でも、このように大事な決定権を3日も4日も引き伸ばされると、このように不安を感じる人がたくさん出てきて、もうすでにお金が返せない状況になってるってことです。そうすると、来月もらえる予定の8300万円は、おそらく差し押さえされると思われます。党の状況、今の財政困難です。なんかご質問とかあれば。

あ、どうぞ。はい。

会議参加者

あの、政党助成金で、なんか借金が返済には当てられないというお話を。

立花孝志

はい。あ、それは、あの、大前提として、政党助成金を直接ね、あの、借金があり、当てるのはできませんが、えー、ここは法律上は合法的に、えー、今の名前で言ったら、あー、政治家女子48党からホリエモン新党という資金管理団体に一旦寄付をして、そして再度戻せば返せるっていうことなので、ま、これはまー、脱法行為のようなものですけど。ま、公開してる通りですね。特段それが違法であるということはないです。はい。もう、それが違法だと言われたら、もう、はい、それまでなんですけど。はい。ま、そういう抜け道はありますので、一旦、別の資金管理団体に流してっていうか、ホリエモン新党に一旦寄付をして、ホリエモン新党から政治家女子48党に寄付をすれば、それは借金じゃなくて、寄付を受けたということになると、これはもう、政治家が作った政党のルールなんで。はい。まず、そこは、あの一、問題ないです。はい

立花孝志

はい、どうぞ。

会議参加者

えー、すみません、私、ずっと、あ、えー、ずっとですね、えー、立花代表の、動きを見ていて、すごい、天才的な政治活動をするという、思っております、今回、あの一、辞任したのも、失礼ながら、ま、パフォーマンス、または、ま、そういう作戦っていう風に、思っていたんですね。はい、なので、ま、代表辞任したとしても、まあ、その、大津党首という若い女性が、顔に出た方が、ま、今回、いいという作戦とともに、ま、失礼な言い方ですけど、ま、裏で、でも、立花党首が、剛腕ぶりを発揮するという風に、ま、勝手に考えていたんですが、はい、なんか、今の話を聞く限りでは、そういうことではなく、まあ、本当に、その、代表権とか、一時は全て渡してしまい、で、その代わりでも、あの、立花代表のことを、ま、信頼してた方たちから、ま、お金を返してくれとかっていう、結局、そういう風に、ま、トラブルというかですね、揉め事が起こってしまったという感じには聞こえるんですけど。はい。実際に、本当に、ま、その、党首というか、代表権は譲ろうと思って、今回、事務局長になられたんでしょうか。

立花孝志

はい、もう全てそうです。あの、ただ、会見でも言った通り、私はちゃんとお金のことをやりますとはっきりと伝えました。だから、私が言うようにお金の問題で動いていただかないと、このように直ちに問題が起

こってるんです。お金の問題ってなんですかって言ったら、政治資金パーティーでしょう。

立花孝志

まさにお金の問題でしょ。お金を集める方法を、これまでやってこなかった。政治資金パーティーという方法を用い、それを政治団体である黒川くんのつばさの党でやるようにと。その元で、ま、許可も何もないですよ。つばさの党とは僕は一切関係ないから、それを指示をし、指示のアドバイスをし、つばさの党で政治資金パーティーをするのは自由、どうぞやってください。しかしながら、出てきたものは、大津党首が出てきて、そして、えー、黒川くんが、あ、幹事長という名前が出て、そして政治家女子48党のアカウントで、Youtube アカウントで、明らかにこれは国民が誤認する状態でお金を集めた。

集めるのはつばさの党ですよ。でも画面に映ってるのは国政政党の党首と幹事長です。そして集める女の子たちは政治家女子48党の公認の女の子たちです。あきれかえりましたよ。

大津綾香

はい。

立花孝志

どうぞ。すいません。

大津綾香

え。なんか政治家女子の会議の中でも政治資金パーティーの話が普通にしたと思うんですけど、その時は認識してなかったですか。

立花孝志

パーティーの話でしょ。あの、政治資金パーティー。

大津綾香

政治資金パーティーの話をしました。で、私は何度か立花さんに、そもそも党の方針としてとか、いろんな意味で政治資金パーティーってやっていいですか。と。そしたらもういいよ。

立花孝志

それは。だから、いいって言ってるじゃないですか。

大津綾香

そうです。はい。

立花孝志

そこを僕、否定してないんです。今ね。今、つばさの党だけじゃなくて、別にそこまでは僕は否定してないです。いわゆる国政政党としての政治資金パーティーを否定はしてないですよ。そこを否定してるわけじゃないです。

大津綾香

じゃあ、政治家女子としても正式にパーティーをすること自体は否定していなかった。

立花孝志

否定してない。否定してない。それは全然否定してないです。今後も、あの、最初から否定するつもりなかったんですよ。

立花孝志

言ってるのはやり方の問題でしょって言ってるんですよ。だから詐欺だって言ってるんですよ。

大津綾香

なん Youtube でその党としての今まで貫いてきたものが変わってしまったみたいなのを言ってたと思うんですけど、だからやっぱ立花さんの意思と違ったんじゃないですかって私聞きましたよね。で、私、意思と違うならそう言ってくれればよかったのに、だったら全然やらなかったのに、何回も聞きましたよねって言ったんです。

立花孝志

だから、政治資金パーティーをすることまでは禁止していませんよ。もう新しい体制になったんだから。ただ、その中で僕が強く言いたいのは、虚偽の発言が多々出てきたですよ。そもそも、じゃあ政治家女子48党で政治資金やるパーティーするんだったら、なぜつばさの党でやるんですかと

立花孝志

ちゃんと説明すればいいじゃん。政治家女子48党で正式にパーティーしますと。ただ、あの様に国民が明らかに誤認するような方法でお金を集めるのは詐欺でしょ。そこについてずっと話してるんですよ。

立花孝志

そもそも政治資金パーティーをやるな、なんてまだ言ってないです。ただ、非常にナイーブな問題なので、嘘をついて集めるのはダメでしょって。明らかな嘘いっぱいついてるでしょ。

立花孝志

ビデオ見てもらいましょうか。ちょっとビデオ出せる。これ youtube 10 分ぐらいなのでちょっとかい。まだまだわかってないでしょ。だから、あ、

大津綾香

わかっています。あのビデオの内容は訂正したかった。

立花孝志

訂正して済むような話じゃないでしょう。

大津綾香

でも訂正する中で、私の。

立花孝志

どない。

大津綾香

だから、まー訂正することもできなかったの、発言できなかった。ビデオ出せない理由があったから。だから私は、なんていうか、100 万円もらってでも降りろって、そういうことかと思ってました。

立花孝志

でも、なんか、100 万円もらっても早く降りてくれって意思ですよ。ただし、印鑑持ってきて欲しかったんですよ。間に合わなくなった。まだ印鑑もらってないですよ。

大津綾香

でも、その印鑑は私の実印の話ですか。

立花孝志

もちろんそうですよ。だって。

大津綾香

他にも私の印鑑買って、いろいろなものをしてますよね。勝手にいろんなことを動かして。

立花孝志

それはさ、それは私がやってるわけでもないし、あなたの部下がやってる状態です。今、この党の代表者、大津党首ですよ。

立花孝志

私。

大津綾香

うん。なんかあの、自分は印鑑がないから何も動かさないのについていう風におっしゃってるから、そこは私はちょっと訂正したかったです。

立花孝志

印鑑がないのに動かさないってのは、そういう意味じゃないです。ごめんなさい。そういう意味では、私には代表権がないから、大津党首の許可がないと何も動かさないって言うんですよ。立花の印鑑の権限がないからという意味であって、大津党首の具体的な物理的な印鑑がないという意味ではないですよ。ちょっとそこは比喻の間違いであってね。立花に党の代表権がない状態のことを印鑑がないという表現をしたのは、ごめんなさい、ちょっとそこはちゃんとわかりやすく言わなきゃいけないんで、そういう意味でね、言ったことは事実ですけど。

大津綾香

だから、実質、私がいなくても、私は何もわからない状態でもお金を管理できていたって状況じゃないですか。

お金のことは僕に聞いてくださいって常に言ってますよね。はい。

立花孝志

だから、お金のことは僕に聞いてください。で、僕が、今この党のお金が一気に枯渇していますと。その理由は大津党首と黒川幹事長の youtube によるものが原因ですと。したがって、直ちに代表者の変更の書類に印鑑を押してくださいと押しただけじゃないでしようかと。その印鑑を僕が押すわけにいかんでしょ。それは後から本人の意思がなければ、その印鑑を押したらこちらが私文書偽造でやられちゃうわけですよ。単純に給料を払うための。大津さんはね、大津党首の印鑑を事務員が押すとかっていうことをしても、そ

れは職務代行ですけども、法人の登記を変更するものについて、大津さんの了承もなしに印鑑をしても意味が。ま、そんなのダメだし、何よりも、あの一、印鑑証明が必要になってくるんでね。

僕が言ってるのは、**党の代表権を変えてくれないと、このまま大津党首が代表権を持ったら破綻しますよ、資金が枯渇しますよ**というのを一昨日の夜、散々説明しましたよね。

大津綾香

だから私はうつすって言ってたじゃないです。

うん。だから、書類を用意しろって言うから。その書類を用意する理由は、黒川さんのことをやっぱやめさせるために、かなり人格攻撃したりとかしてるように私は感じたので、そういうふうには辞めさせられるかもしれないと。これまで、あの、これからもね、党首を続けてくれて言うってくれるけど、100万円給料払い続けるからって言ったけど、それは嘘かもしれないという風に思ったんです。私は100万円なんて別に最初から、あの、この話になる前の、別にもらう予定なかったじゃないですか。目黒区の給料でやろうと。今だって自分の自宅を別に家賃をもらわずに、あの、貸せるわけですよ。スタジオとして。

大津綾香

でも別にそこに何も請求もしてないし、経費渡してるって言うけど、それはあの神奈川県知事選の前、2日前に渡されたものですよね。

だから私は、ま、無給でやってきたわけなのに、大津党首に、黒川さんに、こんなにこれからお金がかかりますみたいな言い方してます。それが私は辛いし、あの立花さんが自分の給料から払うって言ってたから、ここは別に党費から引かれるわけではないから、私の分は何も特に変わらない部分だと思うんですよね。

大津綾香

私が例えば0円でこれからもやりますと言っても、立花さんの給料は変わらないじゃないですか。

立花孝志

いいですか、今の大津さんのそのまさに反論が、多くの支援者、出資者が…

大津綾香

だから私は代表を移すと言っています。

立花孝志

だから、それが今のように移すと言いながら現に移っていないので、私はもうやめます。

ちゃんともうこの国政政党とは縁を切ります。要りません、こんなもの。取り付け騒ぎが起こってる状態で代表できません。

大津綾香

はい、すいません。立花さんはすごく法律に詳しいっていつもおっしゃいますよね。私、あの、なんかいろんな川上さんのやつ見ても、あの、俺に法律の知識が叶わないと。そんな人と口約束をして、私がそうやって人格的に傷つけられたり、追い込まれたりして、辞めさせられるかもっていう恐怖を感じていたんです。

だから私は自分が本当にこの仕事を続けたいと思っていたし、党としても協力したいと思って、女の子たちの事も救いたいと思って頑張ってきました。だけど、そういうふうに傷つけられて私は怖かった。だから100万あなたに渡すって言うんだ。それを保証にして私は働きたかったんです。普通にこのままちゃんと立花さんの、なんていうか、意向を継いで、だけど、なんかやっぱこういう言い方されるんだとか、あのNHK党のことも、あの一、私は知らずに、女の子たちがこの問題が起きてから移っていったことも含めて、とても怖かった。で、黒川さんのことも仲良くしてるのかなとか、幹事長なんだからやっぱ信頼してる人なんだなと思って、黒川さんのことも信頼してました。それをなんかやっぱ政治家女子を使ってお金儲けしてるあいつは金にだらしないやつで、あの、俺はご飯も行ったことないやつなんだみたいなことを言ったりするから、なんでそんなことをみんなに言うのかなって思って、とても悲しかったです。だから、それを私もされるんだな、今されてるんだなっていう気持ちで、とても悲しいってことです。

立花孝志

それはわかりますよ。

大津綾香

だから私は別に代表を移していいんですよ。だけど、すごいね。なんかこいつは無能だからみたいな感じの、なんか話の持っていき方されるのがすごく嫌っていうことだけを伝えただかった。

立花孝志

それが問題なんです。申し訳ないけど、党の代表者1人しかいないんです。大津さん。

立花孝志

この危機。

立花孝志

僕、朝、大津さん申し訳ない。話します。電話しましたね。今朝、キレてましたよね。僕に。

大津綾香

いや、いきなりそういう風にいつも話を変えるからです。この前1時間の中でも。

立花孝志

あ、もう大津さん、このLINE 見てくださいよ。あなたの方でしょう。これじゃあ、一昨日の深夜2時お疲れ様でした。今日色々理解しました。安心して仕事できるなら私はどちらでも良いんです。そう、代表を降りた方がいいなら明日紙を用意します。

大津綾香

紙、用意するように今、だから弁護士と話してるんです。そうじゃないと、法律の専門家になんか大変なことされるかもしれないっていう風に思うからです。それは。

立花孝志

それはわかりますよ。だから、そこがわか。

大津綾香

当たり前じゃないですか。

立花孝志

ま、それは当たり前と思うか、それとも信頼関係かっていうことです。

立花孝志

だから、大津さんは僕のことを疑っているから、書面で弁護士ってなるわけじゃないですか。

立花孝志

そうじゃないんですか。

大津綾香

疑ってるっていうのはどういう。

立花孝志

いやいや、知らないですよ。だって、一昨日、9時間もかけて説明をさせていただきましたが。

大津綾香

でもそこで納得されたわけですよ。

立花孝志

だから、もう1日でも早くしないと知りませんよって何度も言いましたよね。もう次。だってすでに1000万来て、もう今日のこの今、もう1000万と、もう数百万来たんですよ。返金希望が次来たら終わりですって。僕、次1000万規模が来たら終わりですって大津党首に一昨日の夜言いましたよね。

立花孝志

一昨日の夜の大津党首が明日紙用意しますって書いてきてますよね。

大津綾香

うん。だから明日か。用意するってのは、その、夜中ですよ、2時。明日電話するに決まってるじゃないですか。普通に弁護士にその日に用意できない。

立花孝志

そのスピードじゃ遅いんですよ。すいません、申し訳ないです。どうぞ、中身なんか、あの、中身はどうでもいいですよ。結果なんですよ。代表者は。

会議参加者

えっとー、先日のあの記者会見で質問をさせていただきましたが、逮捕されたとか、そういうことになって、でも、新しくか。とか、ま、何か対処できると、取り付け騒ぎになっても大丈夫だと言っていたばかりなのに、1000万円のあれが起きたら、もう1日、2日でどうか代表権をよこせと、そう言わなければならないとえば、逮捕された時に、1日、2日、その逮捕されて1日のうちに、はい、何か指示なんて出せないと思・・・

立花孝志

あ、わかりました。あの、質問はちょっと。聞いていただきたいのがあるんですけど、これ、今資料出してますよね。11億4000万入ってくるんですよ。お借りしてるの10億4000万です。あ、利息は全額返しませんけど、閉じてしまえば済む話です。

会議参加者

だからそれ、

立花孝志

別に私が逮捕されたら何もしなければ、いわゆるもうあの、いわゆる破産管財人に入るなり会社再生に入ればいいだけのことですよ。

会議参加者

だから、そういうようなことの時でも一応なんか対応できるって言ってたな、

立花孝志

うん、だから対応できる。

会議参加者

1日、2日のとこですから、書類が来ないってということで、私も、やはり。私も聞いてますよ。

立花孝志

僕ね、別にちゃんとした人が代表者になれば、だからうちの娘置いてるんですよ、大津さんは。あれだけ大きな詐欺の動画を出しておいて、この党の信頼を傷つけていながら、このように弁明ばかりを続け、多くの人たちが困るようなことを今も弁明を続けておられることで、これ以上債権者にご迷惑をおかけするわけにはいかない。今だったら間に合うと思って判断してるんです。

会議参加者

で、今までの説明であれば、あの、今までってか、あの、過去に、そういったことが起きた時どうするんですかって言ったら、あの、ど、自分が言えば、新しく貸してくれる人がいるし、それをね、あの、チェンジすればいいと。だったら、今はそうすればいいじゃないですか。あの、こういうの。ですから、なんか新たに貸してくださいと、新たに貸してくれる方募集しますって言って、か、

立花孝志

僕が借りるから代表権を渡してください、借りに行きますって言ってるんですよ。何言ってるんですか。

会議参加者

代表権がなくても、それは立花さんが借りて。

立花孝志

だから、僕は今ベストな方法答え言いますけど、斉藤健一郎参議院議員に代表権を渡していただくのがベストだと思ってます。私じゃなくて。であれば、私が借りに行く時にバックが斉藤健一郎党首だったら貸してくれると思います。しかしながら、大津綾香党首だったら貸してくれないと思います。それが現実です。

立花孝志

それを言っているんですよ。どうぞ。あ、どうぞご質問してください。

会議参加者

あの一、別に大津さんだったら。はい。大津さんが党首のままだったら、立花さんが貸してくれって言って、貸してくれる人がいないっていう風には私は思わないんですよ。大津さんが党首であっても、それでも立花さんが貸してくれって。

お金が。えー、返してくれって言われて枯渇してるから貸してくれって言ったら、貸してくれるはずだと思うので、それをやればいいのに。それは

立花孝志

あなたの意見があって、現実的ではありません。すでに返金希望が3000万円も来ています。何を言ってるんです。

大津さんの代表に危険を感じてる方がお金を返せとやってきてる現実があるのにもかかわらず、大津さんが代表のままでお金貸してくれって、貸してもらえると考える方がよっぽど現実離れしてますよ。

会議参加者

だって、あの立花さんが逮捕されて、あの逮捕されてっていうのがあって、でもあの新たに借りたりとかできるっていうのが、刑務所の中からでも指示を出して、そこらへんをコントロールできるっていうような話を今までしてきたと思うんですけど。

立花孝志

だからそれ、そのままじゃないですか。僕が指示を出して、大津さんが代表権をね。僕がもし今刑務所入ったら、悪いけど大津さんじゃお金集めれないから、例えば佐藤さおりさんであったり斉藤健一郎君に代表者を変えてくれと。

立花孝志

それが指示でしょ。刑務所からの

会議参加者

代表者が誰かっていうことじゃなく、立花さんを信じてるからって貸してくれる人がいると。

立花孝志

ちょっとごめん。これ、僕以外の方が誰か反論した方が早いんじゃないですか。それで借りれます。じゃあ、ちょっと会場の人にご質問しますね。

大津さんが代表のまま、立花が政治家女子48党にお金を貸してくれと言って、お金を貸す方いらっしゃいますか。1人でも。貸さないんですか、あなたは。って。いや、もうちょっといい

立花孝志

といてください。で、じゃあ、代表者を齊藤健一郎くんに変えて、それで僕がお金を貸してくださいって言ったらお金を貸していただける方いらっしゃいますか。少なくとも1人、2人、3人、4人いらし、5人、6人、いっぱいいますよね。これ、現実じゃないんですか。7人いますよね。0とこの状況がわからない。

会議参加者

あくまでここにいる方だけで。

立花孝志

これが0とこの状況でね、これが現実なんですよ。もっと言うと、大津党首は何もされてないですよ。ほとんど。1ヶ月100万円の報酬を受け取ることについて承諾されていらっしゃる。

大津綾香

でもそれが動画を出さない代わりにって言われました。

立花孝志

動画を出さないままでいいって言いました。だから、すぐに飛びついてくると思って、すぐに印鑑持ってくると思ったんです。どんだけだって。月100万円、

大津綾香

私がああ、なんか詐欺罪だっという風に主張されてるあの動画は、私がちゃんと訂正するべきところを訂正したかったし、黒川さんのことも、献金パーティーの流れも、その付度しないとかいうことについても、全部話したかったんです。だけど、今話すと、財政がやばいことがわかってしまって、より取り次ぎ騒ぎになるとかおっしゃるから、それで、もう今は出せない、契約してからだっという風に言ったんですね。だから私は、自分の気持ちとか、正直な起きたことの流れ、ずっと言いたかったです。でも、言えなかった。

立花孝志

全部今大津さん。自分に跳ね返ってきてるってわかっています。

大津綾香

わかってないですよ。

立花孝志

ずっとそう言い訳してたらいい。

大津綾香

いやいやいやいや。

立花孝志

ごめんなさい。あ、何度も言いますが、私はもうやめると宣言している人間で、全ての責任は大津綾香さんにあるわけであり。

立花孝志

もう、あの一、この状態で警告、注意したわけですよ。

大津綾香

だから、普通に私は持ってくるって言ったのに。どうして。

立花孝志

だったら今日はすぐに持ってきたらいいじゃないですか。提案しましたよね。朝、電話で。月100万円とりあえずの契約交わして、その後弁護士に

大津綾香

それを言うなら株式会社のことだっ。そうじゃないです。

立花孝志

なんですかそれは。はい、どうぞ。

大津綾香

株式会社のことも、なんかサオリさんが負担を負うかもしれないっていうことで悩まれて、じゃあ自分があの紙の契約をするっていう風におっしゃいましたよね。はい。でも、その紙の契約は

立花孝志

急を要さないから。何言ってるんですか。

大津綾香

いやいや、だから紙の契約に全然その有効性がないってことが、まー3人の弁護士さんからわかったっておっしゃってて。あ、そういうことを言うから、そうやってまた嘘をついてるのかもしれないって私思ったんです。

立花孝志

そうですね。うん。

大津綾香

だから、立花さんがなんかこう、私にしてくださったこととか、これからやっていきたいって言ってくれるけど、それ本当なのかなってわからないから、書面にしたいって言ったので、だからそれをちゃんと書面にしますって言ったのに、なんかこう、毎日毎日言うことが変わるから、、、

立花孝志

簡単に言うと遅いんですよ。遅いんです。

大津綾香

だから私は移すって言ってるじゃないですか、お金じゃないし、自分もお金はら、

立花孝志

ごめんなさい。はい、いくら言っても遅いですって。

子供じゃないんだから。権限は僕じゃないんですよ。

大津さんに権限があって、いつ取り付け騒ぎが起こるかわからないから。

大津綾香

だから、今の聞いてると、その、私に100万円払うのがなんか後から嫌になって、それを公開したくなかったみたいなの。で、こんな書き方してるのかなって感じがして。私は100万円なんかいらななんです

立花孝志

普通断るでしょう。

大津綾香

断るでしょう？

普通、100万円なんか要りませんって言いますよ。なぜその100万円受け取ろうとしたんですか。大津党首、僕はそれに驚いていますよ。

何をされたんですか、お仕事。

大津綾香

それはあなたが、だから私が、あの、目黒区に受からなかったら、党首としての給料も払うよとかおっしゃってたじゃないですか。そもそも、

立花孝志

落選してからでもいいんじゃないですか。

大津綾香

落選してから。うん、落選して、ま、

立花孝志

明日からでもいいんだったら。

大津綾香

だから、今はそういう風におっしゃってるのかなとは思いました。

で、私に、なんかこういう、今ぐちゃぐちゃってこと言われることによって党が傷つくかもしれないんだしたら、あの、そういう風に払えっていうこと、動画を出さない代わりにっていうことなのかなって、私は理解しました。だから、動画を出さなかった、

立花孝志

わかりました。そもそも、

大津綾香

でも、もういいです。こんなにこじれてるから。

だから私は別に 100 万円も欲しくないし、最初からそんなこと言ってないし、代表も、渡すって言うてるじゃないです。

立花孝志

なったらすぐに印鑑持ってきたらよかったじゃないですか。なぜそんな今になって手遅れになってから一生懸命言い訳されてるんですか。

大津綾香

手遅れになってて、

立花孝志

じゃあ、どうするんですか。党の代表は大津党首なんですよ。大津党首に返金希望が来ていて、それどうされるんですか。今から。

大津綾香

だから代表移すって言うてるじゃない。なんでそういうこと。

立花孝志

代表移すと言いつついつまでたっても来ないから、結果手遅れになりましたって今説明しても。

大津綾香

でも代表を移すのって、立花さんがその借りてる方を安心させるためですよ。

立花孝志

安心もしなきゃいけないし、追加の融資を受けなきゃいけないから。だって、手持ちのお金が 2000 万円しかないんですよ。

立花孝志

これでどうやって次の衆議院選挙戦うんですか。

立花孝志

お金借りてこなきゃいけないって説明しましたよね。

立花孝志

その時に、代表権が天津さんだったら貸してくれない。だから党首はそのまま天津さんで登記上の代表者を立花にしておかないとみんなが困ります。NHKの被害者も困るし、党で働く人たちも困るし、それを早くしてくださいねって。なのに、忙しいからいけないとか。

天津綾香

行けないって、来た。しかも今日明日とか、そういう話ですよ。

立花孝志

ごめんなさい。来ないって今朝おっしゃってましたね。印鑑証明取られましたか？

天津綾香

聞かれたから。

立花孝志

あの、だから、ちょっと他の、あ、あのね、従業員として働いている状態じゃないんですよ、天津さん。党の代表、法人の代表っていうのは、その瞬時瞬時の判断によって法人が崩れてしまうっていうことを常に考えなきゃいけないんですよ。

天津綾香

でも、立花さん、一貫して私にその代表権を譲るっておっしゃってるっていうことですか。

立花孝志

いやいやいや、もう僕はもうやる気ないですよ。遅いですから。こんなもう身動きとれない法人無理です。

天津綾香

いや、そうじゃなくて、話し合いの中でも、じゃ、代表をそのまま続けてみるって言った時も、そこでブレブレだったなって思って。

私はlineでもどちらでもいいですけどっていう風に言ったんですよ。

立花孝志

じゃあ、この一昨日の line はなんなんですか。

大津綾香

だから、一昨日の line は、だから、どちらでもいいですけどっていうのは、そういうことですよ。

立花孝志

だから明日、紙持ってきますっていう意味はなんなんですか。

大津綾香

だから、それはもう朝の 2 時に終わって、明日って言って、そこから 弁護士に相談したらそうなるじゃないですか。親にも話すし。そしたらそれは危ないんじゃない。大丈夫。って言われるから。そりゃ紙を用意するのに時間がかかるのは当たり前ですよ。その妥当性みたいな話してるのであれば。じゃあ妥当じゃないとして、別にいらなそうですよ。私、最初から言ってる通り目黒区の給料でやるって言ったのに。

立花孝志

大津さん、じゃあどうして代表就任する時に紙にしなかったんですか。

立花孝志

代表に就任する時の条件を紙にされなかったんですか。

大津綾香

え。でも印鑑は押しましたよね。代表就任する時の条件なんて、別に私お金欲しいって言ってないから紙にしていなくていいですよ。

どうだっていいから。だって信じたじゃないですか。私。その時といろんな状況が変わったんです。

立花孝志

だから、代表就任する時の条件は何もなかったんですよ。

立花孝志

大人ですよ。法人の代表になることを当然存じ上げて、印鑑を押されたんですよ。

大津綾香

でも、迫られて、そうやって印鑑よこせ、印鑑よこせって言われて印鑑渡してしまって、私、実印渡したと思って怒られました。

立花孝志

ごめんなさい。ごめんなさい。印鑑よこせはごめんなさい。要は、印鑑っていうのはちょっと言い方を間違ってるんですよ。でも、意思表示を示されましたよね。代表に就任する意思表示、印鑑よりも本人の意志が大事なんですよ、気持ち。

大津綾香

だから意思表示したじゃないですか、ずっと。代表をおりますと。

立花孝志

本人が代表を意思表示されて法人の代表になられてるわけですから、今現在、法人の代表になられてるわけですから、もうそれは文章も何もないんですよ。だって、誰と契約するんですか。大津さんは。誰から100万円もらうんですか。

大津綾香

だから党首の業務を続けてるのに、行くのに。そういう風に提案されたから、じゃあそれを書面でって言うだけじゃないですか。それ

立花孝志

大津さんは誰と契約されるんですか。大津さん、よく考えてみてください。

大津綾香

党の雇用契約みたいなあるんじゃない。

立花孝志

その雇用契約の相手は大津さん誰なんですか。

大津綾香

いやいやいや、だから、渡した後ですよ。それは代表権を渡した後私を雇うことになるわけじゃないですか。そしたら。

立花孝志

だから代表権、先にもらわなきゃいけないんじゃないんですか。

大津綾香

だから、それを一緒に渡すようになっていうことで、今、親が用意してくれてるんですよ。

立花孝志

うん、だから今、一昨日夜何度も説明したと思いますが、危ないんですって。

今直ちに代表権を僕に渡すなりしないと、この法人、政治家女子48党って法人は取り付け騒ぎが起こるから待ったなしなんですと。その待ったなしが残念ながらタイムリミット過ぎちゃいましたって。

立花孝志

あの一、少なくとも大津さんの個人の財産には傷がつきませんので、そこだけは。これ、今申し上げてる通り、11億円の入金見込みがあって、10億4000万ですから、1億円の余剰が出ますから。もちろん利息が3億ですから、あの、出資者には、ま、利息は十分に返金できませんが、何もしなければ出資者には迷惑かけません。で、もちろん、これだけ言っていると不安ばかり与えてしまいますから。私は、NHK党の、政治団体NHK党の党首はこれからももちろんやっていきます。当たり前です。政治家女子48党からお金を返金してもらった方に僕はお願いをします。政治団体、NHK党にお金を貸してください。

立花孝志

当たり前じゃないですか。これから始めるテレビ事業の出資金に使わせてくる資金出してください。

僕は全然そんなの、国民を、NHKから被害を受けておられる方を見放すつもりもないし、従業員の皆さんは私が新しく作る会社や政治団体の方でできるだけ1人でも多く引き取るつもりですよ。

立花孝志

それが人間の信頼でしょ。人としての信頼でしょ。それが法人のトップでしょ。

会議参加者

あ、すいません。ちなみにそれっていうのは、雇用契約は書面ですか。

立花孝志

誰とどの

会議参加者

えっと、NHK 党

立花孝志

書面で交わすつもりは。今のところ、あの、当然、雇用契約できるだけの資金が今のところ全くないので、

会議参加者

あ、いや、あの、あった場合は、

立花孝志

ま、雇用する場合は、もちろん、あの、雇用契約は、今、交わさなきゃいけない。ま、少なくとも雇用するという考え方は持てないし、法人格がないので。ただ、会社の方は雇用契約を締結しようと思います。

今言ったように、株式会社と政治団体を作ろうとしてるので、政治団体の方はそもそも法人格が持てないので、それはほとんどが請け負い契約になろうかと思っています。雇用じゃなくて、請負の仕事。まあ、いずれにしても、それは、お金はお支払いするつもりですけどね。だか、その資金がそもそも入ってくるかどうかはやらなきゃわかりませんから。どうぞ。

会議参加者

すみません。確認なんですけど、大津さんのお話聞いてると、やっぱり両親に相談をしたり、弁護士の人と、準備がああって、そのために、時間をかけてるっていう話だと思うんですね。ということは、大津さんは、それだけ、その弁護士などと相談をする時間をかける余裕があると認識されてると思うんですけども、立花さんのお話ですと、もうすでに資金残が2400万で、実際、2000万と、あと数百万返してくれっていうふうに言ってる人たちが来ているので、あの、運転資金が、枯渇するから、はい、あの、待ってる余裕はないですよってということなんですよ。

立花孝志

待ってる余裕がなかったかな。ですね。は。正確に言うと、今2400万円で、今日、多分1000万だといくらですか。

栗飯原美佳

もう5、6件来てます。

立花孝志

今日だけで？あの、これで決まりでしょ。いや、僕はこれが、なぜこの会議をしたか。これ、僕だから党じゃなくて、私個人でやっていますけどね。

それは、返せない状態になってから告知するのは、僕の精神から反しますから、ちゃんと1億の余裕がある状態で発表しないといけない。

会議参加者

でも、だから、そういう状態になっちゃうんで、信じる信じないとかっていう。問題ではない。

大津綾香

だから、そこまでの状態じゃあ、その、話し合った時はなくて、そのまま移す移さないみたいな感じもあって。だから私、あの、メールにどちらでもいいですけどって書いたんですよ。

だから、この1日、2日っていうのはよくわからなかった。

立花孝志

ちょっと、じゃあ読みますね。

大津綾香

だから、普通に私、渡しますよ。もう今、行って、それでいいですよ。だって、普通にそうしないと党が回らないんだから。私、党を潰したいなんて思っていないです。

立花孝志

できれば、私じゃなくて、齊藤健一郎参議院議員にさせていただくのがいいかと思います。これ、もし私がね。いや、そもそも私はこれ引き続き0です。もうそんなの、こんなしんどい仕事これ以上やりたくないです。

ただ、NHKの被害者を守る活動は僕はやらなきゃいけないと思っていますから、コツコツとやっていきますよ。できれば私じゃなくて、齊藤健一郎参議院議員。なぜか。その理由も述べますが、政党助成金というのは国会議員が1人以上いなければもらえません。

この今提起している11億4000万円についても、齊藤健一郎党首は、あ、ごめんなさい、齊藤健一郎議員はこれからももちろん健康が状態で続けば2028年の7月まで参議院議員という資格があり、齊藤健一郎さんが議員を辞めなければ11億4000万円のお金がもらえるわけですから、出資者は安心すると思いますし、僕はホリエモンの秘書の齊藤健一郎国政政党党首がやっているものに対してお金を貸してくれということも言うし、当然、齊藤健一郎議員の後ろには大金持ちがいっぱいいます。皆さん安心でしょ。僕は、お金のことに

ついては僕、俺がやると。だから、お金のことについてこのように時間がかかるようなことを、申し訳ないないんですけど、想定していませんでした。

大津綾香

はい。なんか、あの、浜田議員のあの動画でも、なんか数日のうちに、あの一やりますっていう風におっしゃってたと思うんですよ。それ、昨日ですよ。はい。だか、それ、数日のうちですよ。はい。うん。

立花孝志

代表権移すのが遅いんです。

大津綾香

数日中のうちが遅いんですか。昨日見て、

立花孝志

それは昨日、ま、佐藤さんの youtube で全部真実を僕は佐藤さおりさんが述べたと思いますが、なぜかその youtube が訂正しますという形で、ふざけた形で動画が上がってました。

意味がわからないですよ。何が訂正なんですか。何か事実じゃないことがあったんですか。

大津綾香

じゃあ、デモの参加のことは。

立花孝志

全く関係ないですね、それは。なんですか、それ。なんか影響ありますか。それは別に、あの、個人の感想、あの思想なんで、どうぞ自由に。

会議参加者

内容的にちょっと確認をすごいしたいところがありまして。えーっと、立花さん、先ほどの説明だと、政治資金パーティーはオーケーを出したけれども、内容を聞いて、え、ダメだったと。止めたという話で、その理由は、脱税や風俗営業法にかかるじゃないかみたいな話がありましたけれども、先ほどの浜田さんが上げていた、あの、幹部会見の動画の中で、お尻を触ったら、あの、1万円とか、なんかそんな話があったと思うんですけども。はい、ありましたよね。はい。あれって結構なんか衝撃的な話なんですけど、あの、証言が。立花さん、言ってることを疑うわけではないんですけど。はい。立花さんからしか出

てないような感じがするけど。あれは本当に事実ですか？

立花孝志

はい。あの、僕は動画で言ってるのは、風俗営業法違反であるとか、脱税の前に詐欺だと何度もはっきり言ってますね。で、僕が詐欺だと言ったら、黒川くんのお友達なのかな。来ましたね。LINE のスクショが。これ、勇気を持ってショウコちゃんが送ってくれました。なんですこれ。立花が政治のお金でなんや悪いことしてる。読みましょうか。これの YouTube 出したじゃない。あの、Twitter で。こんなようなものを出されて。聞きましたよ、このヤマムラケンさんに、彼のこれ、彼ところですよ、彼の政治資金に関して。欺瞞、いずれ白日の元に晒しましょう。僕、何したんですか。

会議参加者

その Twitter のスクショなんで。だけど、いいねがひとつもついてなかった。なんかちょっと、なんで誰にも賛同してない意見を、その、切り取ったのか。

立花孝志

知らないですよ。本人に聞いたんですよ。黒川くんに電話させて、このヤマカワっていう人物に。これ、動画出たの。その9時間の中に黒川くん、これ誰や。聞いて黒川くんから電話させたんです。黒川君の部下だと言っていましたよ。

会議参加者

あ、じゃ、黒川さんの指示でそういうものを書いた。

立花孝志

指示じゃなくて、黒川くんの部下が。読みますよ。「黒川さん、立花が 事実をねじ曲げての一方的な主張だけでなく、詐欺呼ばわりにはどれだけ腹が立ったことか。彼の選挙資金に関しての欺瞞いずれ白日のもとに晒しましょう。候補者の女の子たちのためにと。それは今ではないと耐え、悔しい気持ちを飲み込んでの決断。それは今後何倍にも大きなエネルギーを貴君にもたらしてくれるでしょう。あくまでも中止ではなく延期として、立花氏への反撃の機会を待ちましょう。」なんなんですかこれ。

会議参加者

あれですよ。賛同してる人って一人もいないし。

立花孝志

いない。知りません。この人にお給料払ってるんですよ。

会議参加者

ただそういう、なんか疑問だったんですよ。あの。はい。いいねしてない。ん。

立花孝志

関係あるんですか。

会議参加者

いや、割とあると思うんですけど。あ、僕が個人的見た感じでは。あの、誰も賛同してなければ、それ暴言な訳なんです。

立花孝志

いや、とにかく、僕がここに結論。

会議参加者

要は言いたいのは、何かその、金沢祥子氏が、えーと、その妄言をわざわざ切り抜いて、え。立花さんを、そそのかそうとしたんじゃないかって。僕の方には。

立花孝志

そうです。そそのかされてるんですよ。あ、そそのかされて、このような人をまるで犯罪者のようなことを一部の人間に周知してる人間に、私が黒川君にね、党から黒川君に130万払って、黒川君からこの人間に払うんですよ。え。黒川くんはそれ認めてるんですか。

会議参加者

あの、ショウコさんに、立花さんがそそのかされてるんじゃないかっていう、聞く。

立花孝志

だから、そそのかされてるってさ。

会議参加者

そういえばそうなんですな。

立花孝志

ショウコさんは危ないから、危ないから、立花さんに、殺されるかもしれないけど情報提供しますって。要はね、これ何が問題かというと、その丸吉くんの意見そのまま、悪いと思ってるんですよ。黒川君も大津党首も。これが正当だと思ってるんですよ。

よ。で、それは正当か黒か白かを今言ってるんじゃないくて、そのような考えの人が政党の運営をできるかどうかという話なんです。自分のことばかり考える人が政治家として、政党として引っ張っていったら、国民はついてこないでしょ。

立花孝志

このように立花に反撃しましょうという人にお金を払うわけでしょ。黒川くんは。払っているんでしょ。

会議参加者

そこはちょっとわかんないですけど。

立花孝志

本人に聞きましたよ。

会議参加者

すいません、度々。えっと一、先ほど大津さんからお話で、あの一、5時から2時まで話した8時半の時に、立花さんから黒川さんに対する人格攻撃あるっていう話があって、ま、その話だけ聞くと、なんか黒川さんの（意味不明）みたいな話になるかと思うんですけども、え、黒川さんの場合はどうなのかっていう風に見た時にですね、あの、ネット上で見ている情報なんですけど、2日前に、えーっと一、twitterを上げてるのは最後で、えーっと、なんですかね。あの一、ま、火曜日の朝になるかもしれませんが、一連の問題について動画を出させていただきます。っていう風に言ってますけど、動画上げてないし、今日もなんか呼びかけてるっていう話が、あの、ありましたけど、今いらっしやらないですよ。なんか、来てないとなく説明もしてないし、ここの、この場にいないと、やっぱり黒川さんに対する信頼っていうのは落ちるんじゃないかなと思うんですけど。なんかこう、黒川さんがこの場にいない特別な理由ってのは。

立花孝志

あ、ごめんなさいよ。え。ないんじゃないくて、僕、あの、してないだけで、ちゃんと呼びましたよ。あ、よ、lineでの。ちゃんと事務所のlineに彼はまた。はい、また入ってるよね。出た。入ってますよね。退会してないですよ。ちゃんと呼びかけましたよ。

会議参加者

知ってます。知ってます。はい。それで、予備。

立花孝志

いや、きき、来ても、まあ、来たくないから来てないでしょ、別に。あ、じゃあ、

会議参加者

いや、Twitter が1時間前にありました。

立花孝志

いや、あの、別にね、黒川くんの。黒川くんや、別に大津さんの政治活動に対して僕は言ってるわけじゃないですよ。そんな宗教法人に対してデモをするとか、気持ちはもう個人としては、それはあんまりよくないと思いますよ。でも、そういう、その参政党に実力行使に行くとか、そういうことを言ってるわけじゃないんですよ。

立花孝志

このお金のことにに関して有権者を騙すような表現をしているのに、それを謝罪せず、自分の弁明ばかりを繰り返し、また代表権を持ち続けた結果、このような取り付け騒ぎが起きている。

注意はしました。あの時と全く一緒です。

大津綾香

いや、だから私は弁明動画あげたかったですよ。この前の話し合いの中で。でもそれを、あの、待ってくれっていうことだったのであげてないんです、弁明動画ってというのは。だから、その1つ1つの言葉じりとか、その黒川さんの説明による、これは明らかに間違いだなと思う部分に対して私が訂正する必要があると思ったから訂正したかったし、本当のことの、その経緯の流れとかは話したかったんです。だけど、それがなんかやっぱ党にとって良くないことになるってような説明になるかもしれないなっていう部分もあったのかもしれないから言わなかったんですよ。

だから、私は言いたかったですよ。弁明され、してないのについていうから、その、

立花孝志

違うんですよ。弁明じゃないです、謝罪なんですよ、必要なのは。もちろん、弁明で納得すれば、このような取り付け騒ぎが起こってないんですよ。

大津綾香

で、ヤマムラさんのことは、私は本当に2日前ぐらいにだから知った人ですよ。それは、あの入ってきた人で、黒川さんに雇われた人で、私からすると黒川さんは幹事長で立花さんとも仲がいい人だと思っていたので、信頼してそれをやってたから、政治資金パーティーもやっていいと言ってたから、私自身もその政治資金パーティーの中で、そういう変な

プログラムを組むっていうことは脱税に当たるんじゃないのかと立花さんに指摘されたことをちゃんと伝えた上で、あの政治資金パーティーでやる必要があると言われたから、私は、政治資金パーティーでやって、その中のことは、脱税に当たるかどうかは黒川さんが考えることなのかなと、私たちもそれに当たらないようにやるのかなと思っていましたね。

大津綾香

で、その結果、そのアンケートの結果とかを見ると、すごく政治資金パーティーに対しての反対の声が大きかったじゃないですか。党として今まで守ってきたことをやめるつもりなのかと、寄付とかをもらわなかったのに、それはどう考えてるんだっていう声があって、立花さんは、そんなことは、あの、党としてやってこなかったことをいきなりやるなんです、根幹を変えるなんてみたいなことを動画であげてらっしゃったので、私はまずそこにも違和感があったけれども、もういいです。

会議参加者

あ、いいですか。

立花孝志

ちょ、ちょっと待ってください。

大津綾香

だから、そのことをなんかグダグダして話すのが、なんかあんまり良くないことなのかなと思って。私は別に、こうやって、あの数日以内に契約するっていう風に、この昨日の動画で言ってるくらいだから、それを今ちゃんとやろうと思ってたところ、そうだったんです。それをもう今日ってなって、今日いきなり会見開くっていう風に、さっき。だから、朝聞いて私はとてもびっくりして。だから、あの一、まあ、そういうね、返金のことが起きたんだなってこと、今知りまして。だから普通に私はもう代表を返すと言っているじゃないです。

立花孝志

言ってるだけで返してないじゃないですか。じゃあ、昨日の佐藤さんの挙げられた動画を、何を撤回されたんですか。そこを説明してください。

大津綾香

だから、私は動画をあげられなかったっていうのを。

立花孝志

違います。あの、それだけですか。

大津綾香

うん。だから、お金をもらうことで、そういう風に口止めされたと思ったんです。契約することで。だから私はそのお金なんだと思いました。だから、俺も悪かったところあるから、俺の給料から払うって言ってたじゃないですか。だから、あ、そういうことなのかなと思って。だから一応それで、私は党首っていうことが、これからも政治家女子を、こんなに女の子たちが、お金がないっていう風にあの動画でも言っていたけれども、もちろん最低限立候補できるお金、ボネクタのお金、供託金、払ってます。

だから、あの伝え方、本当におかしいと思います。だから、それを訂正した上で、どうして女の子が、お金が必要だと思ったのかっていうことを説明したかったんです。だって、選挙にはお金がかかるからっていうふうに黒川さんが言ってたから。で、その黒川さんの戦い方は、党としての方針としては間違っていたんだなってことをわかりました。だから、それで。で、党としての方針は間違っていたとしても、そこに今、統一地方選挙にベツトすること自体が、だけど、1人1人の女の子は、自分の人生をかけて出てきてます。この選挙を逃したら、4年後の統一戦に出るかわからないっていう気持ちで出てきてるから、それなら、自分たちでお金を集める方法を考えられないかなっていうふうに、あの黒川さんと協力して頑張ってたんです。

大津綾香

で、それを、黒川さんのことを人格否定するようなことを女の子に色々言ったりとかしてたから、私はそれ自体も悲しかったし、黒川さんと縁を切ろうと言われることもとても悲しかったし、黒川さんを切らなければいけない、しかもそれが私の権限。お前が決めたことだってと言われるのも、私は辛かったんです。

大津綾香

で、その話をした後ね、じゃあ、黒川さんと。だから、今はもうこういうことになってしまったから、黒川さんは降りてくださいと言わざるを得なくて、言いました。だって私が決めることだって言われたから。でも、代表権があるならいつか戻すことができるかもしれない黒川さんのこと。って思っていました。だって。

立花孝志

一生懸命言い訳されるのは自由ですが、結果責任なんですよ。

大津綾香

いや、だから結果はもうハンコを持っていきますよ、今日。それでいいじゃないですか。

立花孝志

じゃあ、齊藤さんか誰か、誰にお願いするんですか。

大津綾香

齊藤さんでいいじゃないですか。

立花孝志

齊藤さん、それでもいいの。

齊藤健一郎

はい。了解です。

立花孝志

はい、じゃあもうそれで。

会議参加者

も、あの、齊藤さんにあの、代表が行くのは全然いいと思うんですけど。あの、で、えっと、立花さんは全く退くっていうお話なんですけど。はい。あの、齊藤さんが代表になった際に。はい。

会議参加者

えーっと、皆さんは、この、えっと、国民の皆さんへの、その、なんて言うんすかね、新しい借入れのお願いっていうのはされますか。

立花孝志

もちろん、あの、代表が齊藤くんになれば、齊藤くんが借り入れるお願いすればいいと思う。

会議参加者

齊藤さん、借入をお願いします。

立花孝志

それは僕が決めることじゃないじゃないですか。

会議参加者

あ、いや、では、例えば齊藤さんが。

立花孝志

アドバイスはもちろんしますよ。僕はこれから選挙会社の社長もしようと思ってます。だって、選挙のコンサルタントするのが僕は1番向いてるじゃないですか。僕はこれから国民政務の業務は感知しませんと。

会議参加者

や、先ほどのなんかアンケートを取られてたじゃないですか、この会社で。その時に、えーと大津さんが代表のまま僕がえっと呼びかけをしたら、貸してくれる人、手をあげてください。で、次に齊藤さんが、えー、党首の時に僕が呼びかけをしたら、え。お金を貸してくれる人、手挙げてください。3、4人上がったんじゃないですか。その前提条件と今ちょっと違ってるん。

立花孝志

最低条件も何も、今1つの例を出しただけで、齊藤参議院議員がこのまま党首になれば、おそらく齊藤参議院議員がお金を貸してと言えば僕よりも集まるでしょ。何を言ってるの。うしろにホリエモンさんがいて、ミカジョンさんがいて、渡辺さんがいて、ひよっとしたら100億ぐらい引っ張ってきますよね。ちょっとレベルが違うんですよ。

会議参加者

あ、全然そういう、あのね、その、納得しされてれば全然問題ないですよ。ただ、ちょっと

立花孝志

納得してるからいいって言ってるでしょ。

会議参加者

条件が違う

立花孝志

な。条件なんですか。僕がいいんですよ、これは代表権を。例えば昨日でも、ちょっと、あの、

会議参加者

僕は全くもう、あの、いいっていうのであればいいです。ただ、あの人がいない。

会議参加者

いいって！もういいって言ってるだろ！

会議参加者

そうです、そうです。だから、いいんだ。やめ。だから、逆にですよ

立花孝志

あのね、あの、丸吉くんには悪いけども、やっぱり会社の組織って、丸吉くんみたいな人いると思います。ただね、多数決でやってたら、もっと丸吉くんの合意を得てたら、間に合わないことがたくさんあるんです。

会議参加者

あ、いや、僕はもう、あの立花さんオッケーならオッケーで。

立花孝志

そういうことをもう言ってるんじゃないかってね、みんなが納得するんだね。僕が説明をするなら、やってたら手遅れになることがある。ビジネスチャンス、あるいはビジネスが崩壊するときには直ちに判断をして動かなければいけないものなんです。

会議参加者

ビジネスなんだ？

立花孝志

当たり前じゃないですか。経営でしょ。組織経営なんですよ。言い方がビジネスっていうのか、組織の運営なんですよ。みんなのオッケーをもらう、みんなに説明する前に、職員さん、業者さんの生活、何よりもNHKの被害者をお守りすること。この国政政党を応援してくれてる有権者に対して、安心をしていただき、彼らのためにお仕事するために、常にトップというのは判断をしていかなきゃいけない。

言い訳をしてる間に手遅れになることもあるということですよ。

会議参加者

えーっと、立花党首・・・

立花孝志

今までは、立花さん、いいですよ、もう、はい。

会議参加者

立花さんの、魅力とか、カリスマで、応援してくれてきた人っていうのは、他に思うんですね、はい。で、その中で、政治家女子48党として、と。まあ、その中には、自分は立花さんだから、あ、応援してきた、ボランティアやってきた、なんかこれは違っていて人もいれば、逆に、まあ、大津党首はじめ、政治家女子48党という、その、魅力に惹かれた、ま、新しいボランティアの方たちに向いて、今は結構、その一、現場っていうかは、ちょっと、こう、価値観が違う方たちが集まっているんですけど、その齊藤議員が、今度、党首になられたとした場合には、その政党名、そのまま政治家女子48党になるのか、または、ちょっと政党と、そして、か、色を出していくのかっていうのは今のところ決まっておりますか。

立花孝志

俺、全く関係ないから

齊藤健一郎

まだ決まってません。はい、良きようにわかります。

会議参加者

わかりました。ありがとうございます。

立花孝志

はい

会議参加者

はい。あの一、国政から引いて、政治団体か。NHK から国民を守る党 をやるっていう話もあります。あとは、ライブしてた時に、 マツコデラックス被害者の会株式会社を使って、あのチューナーレステレビを売るって話があったと思うんですけど、あの佐藤さんがやってる政治家女子48党株式会社もチューナーレステレビやると思うんですけどそれはどういう関係…

立花孝志

いや、だから今のところ特段僕は。だから、佐藤さんとまたこれから個別に話をしようと思っておりますが、あの一、すごく思ってるのは、ま、一昨日9時間の話をしているにも関わ

らず、これがまだ、こう、ガチャガチャしてるものが。

私の時間っていうのは、申し訳ないんですけども、すごく貴重な時間であって、何度説明してもわからない人に説明するほど、暇ではありません。不安だったら去ってください。ついてくるならついてきてください。それだけなんですよ。何も僕の方からお願いしてないんですよ。

立花孝志

ただ、お願いして失敗しそうになってるから、直ちに判断をしてくれないと大変なことになるから、とってまかつこ悪いけども、これは戻してもらわないと。でも、それに対してすぐに決断をせずにされるのであれば、僕は別に何も国政政党代表や、もう国会議員も潔く退いてるようにね、これ以上この状態にしがみつくつもりはありません。ただ、私のことを信じてお金を貸していただいた方にご迷惑をかけることもできない。また、NHKの被害者をお守りすることについても、これからもやっていきたいし、やっていきます。

立花孝志

何も NHK 問題をやらない黒川くんに毎月 180 万円も払うことが許されるのか。

日々500件もの国民からの電話をボランティアの方々が1円ももらわずに真摯に対応してる姿、その人たちにお金を払わず、言い訳ばかり繰り返し、党首に月100万円払え、党の信頼を傷つける人物に130万払うことが本当に許されるのか。私は、この3日ほど眠れなかったのは、自己保身で眠れなかったんじゃないです。理解できない人を切らなければいけないことに対する胸の痛みですよ。仕方がないじゃないですか。国からいただいたお金であり、そして信頼して貸していただいたお金をね、言い訳を繰り返す人に支払うわけにはいかないから。かといって、私がこのまま党から240万円もらい続けるのも違う。だから私はやめます。

立花孝志

そして、皆さんが困らないように代表者が変わればいいなと思って提案、アドバイスをさせていただいたわけです。

大津綾香

はい。

立花孝志

どうぞ。

大津綾香

私が口止めをされたので

立花孝志

口止めしたんですか？

大津綾香

口止めをしたと思いました。だって、動画を撮らないでくれ、その後、あの契約の後だって言われたから。私がそれ契約のあと動画を出すなら、ま、出せないじゃないですか。だ、それ、言い訳を繰り返すとか言われても、私はちゃんと説明したかったんです。

立花孝志

ごめんなさい。やっぱり撮影したらよかったですけど、僕、口止めなんかしてない認識ですよ。なぜ。だって口止めしてもでていくわけでしょ。お金 100 万円。残りますよね、収支報告書に。口止めなんかした認識全くないですよ。

大津綾香

でもそれは落選した後に払うよってずっと言ってたのと同じことかなと思いました。別に 100 万は高すぎると思いますよ、私にとっては。だからそれは別にあの政治家女子のあのみんなを助けるように使ったらええやんって言ってましたよね。だから私はそういう風におおうと思ってました。

立花孝志

使えばいいじゃん。うん。じゃあ、そのお金があるのにね。黒川 130 万あるのに、

大津綾香

黒川さんはもうやめられたじゃないですか。

立花孝志

同じことじゃないですか。100 万円もらえるんだったら、直ちに 100 万円で理解して、代表権の変更されればよかったじゃないですか。なぜそんな大事なことを弁護士さんに相談するなりして時間を使うんですか。すごく大事なことでしょ。だから大事なことだったら就任の時から弁護士さん使うっていう、そういう理屈になりませんか。

大津綾香

それはもうガーシーのことで、どっちどっちその段階でもなってたじゃないですか。で、

昨日、急ぐって、それを言われて、

立花孝志

だから何度言い訳されても一緒ですよ、もう、

大津綾香

うん、一緒ですよ。

立花孝志

はい、もう。だからあとは2人【大津と斎藤】でやったらいいんじゃないですか。僕はもう関係ないって言われても。それが代表者の責任なんですよ。どういう人生歩まれてこられたか知りませんが、裁判所でも警察でもどこでも行ってください。もうあなたの責任ですから。どうぞ。債権者、今、多分いっぱい来てると思いますよ。返金。注意しましたよね。僕。2回注意して、2回ともすぐに履行してないから言ってるんじゃないですか。

大津綾香

なんですか。

立花孝志

だから政治資金パーティーはダメだって。1回目ですよ、それ。明確にあなたと黒川くんがYoutubeを撮る寸前に言いましたよね。その内容では政治資金パーティーってなのっちゃダメ。普通のパーティーにして脱税にならないようにしなさいと2人に電話しました。これが1回目です。

大津綾香

あ、それはもう黒川さんに私も言いました。

立花孝志

なんだったら、なぜあそこで2人でyoutubeで出ちゃうんですか。あなた代表者なのに。

大津綾香

だって、幹事長じゃないですか。

立花孝志

幹事長のあなた、上司でしょう。

大津綾香

私は党の内部のそういう関係だから、どういう人間だとか私知りません。

立花孝志

結果責任取るのは私でもなければ黒川くんでもなければ大津さんなんです。

大津綾香

なんで責任だけ押し付けるんですか。私は、説明もしないで、

立花孝志

危険だから、一昨日、9時間話して、代表権を返してくれないと大津さんが大変なことがいくよと。ただし、大津さんの個人資産には何も傷つきませんと。

あれだけ9時間表を出してやったじゃないですか。その、それもそれに近いものを見せて。9時間何の話したんですか。

大津綾香

ま、私の話してたわけじゃないですよ。

立花孝志

だから、あの、何度も言いますが、今言い訳されても一緒ですよ。三振してあれはボールだって言っても、いくら言ったって審判がストライクって言ったら終わりですよ。

大津綾香

じゃあ、政治資金パーティーはやってもよかったってことなんですね。

立花孝志

だから、最初がいいですって言ったじゃないですか。それ、普通の政治資金パーティやるの。あんな問題じゃないですか。それが、中身がね、グラビアアイドルの子が写真撮ったりとか、なんか風俗の子がなんかお尻叩いたりとか、写真撮ってお金もらったら、それは課税しなきゃいけないでしょって何回も言ったらわかるんですか。あのね、自分が悪くないことをいくら弁明されても、責任者は残念ながら大津さんなので、僕が。ま、それは僕が悪かったです。ごめんなさい言ったところで取り返しがつかないんですよ。

立花孝志

それが結果責任でしょ。それを見てるんじゃないですか。

大津綾香

じゃあ、失敗すればいいと思って黙ってたって言ったのはなんなんです。

立花孝志

黙ってなかったじゃないですか。僕、はっきりと言いましたけど、政治資金パーティーやめろって。でも言ったから、うわ、こんなこと言ってるなど。

じゃあ、返金希望が来たわけですよ。twitter でやった。1000 万来た。

あ、やっぱりこうなるんだ。資金確認しました。なんとか。まあ、あと

立花孝志

ね、テレビに当てる 2900 万円を返金に当てればなんとかなる。じゃあ、テレビの方のお金はちょっと後回しにして資金繰りをやっていくわけですよ。それに対してごめんなさい、間違っていました、なら止まったでしょ。でも、それを言い訳を繰り返されたことによって今現在になってるんじゃないですか。この話し合いを見て不安を感じた人がどんどん、どんどん返してくれ、それが取り付け騒ぎなんですよ。

大津綾香

だから私は間違っていましたっていう動画を出したかったんです。でも、それを止めたじゃないですか。

立花孝志

止めてない。

大津綾香

止めましたよ。だって、動画を出すなど契約するまで。

立花孝志

言ってない。仮に、僕は言ってないですけど、仮に言ったとして、仮に言ったとしてですよ、何それ。何が影響するんですか。100 万円あなたがもらうっていうことに対して多くの方が納得されるんですか。何を言ってるんですか。自分が月 100 万円もらえるような仕事をしてるという認識なんですよ。

それを隠そうとしない。しないんですよ。しなかったですよ。

大津綾香

隠したくないですよ。多分ないでしょ。だって、全部明らかになることだよって言ってたじゃない。

立花孝志

それを話してどうするんですか。同じことじゃないですか。9時間やったのと結果責任出てるんでしょ。直ちにハンコを取りに帰って、齊藤さんをお願いしますって頼めば終わりなんじゃないんですか。齊藤さんの気が変わらないうちに こんな11億もの負債を、ま、10億5000万もの負債を抱えて。

立花孝志

取り付け騒ぎが来てる中でね。そこで一生懸命言い訳や説明をされたところで もう遅いと思いませんか。

大津綾香

政治資金パーティーのいく末を見守ろうとして、それがどうなるかで、その責任をこういう風に押し付けてくるじゃないですか。結局、結果責任だ、お前が代表者だからだと やってもいいって言った政治資金パーティーがこういう結果になって、結局取り付け騒ぎが起きて、それからこうなったじゃないですか。

立花孝志

それがどうしたんですか。何言ってるんですか、さっきから。意味がわかりませんよ。僕、責任取れないですよ、責任者じゃないから。自分がどう責任とるかしかかないじゃないですか。子供じゃないでしょう。僕は黙って俺の言うことを聞いて、お金のことはちゃんとしろって。あれだけ独裁に行くって言って、直ちにこれは危ないから代表変わろうって 言ったら、少なくとも翌日には持ってくるべきでしょう。それを弁護士だのなんなのって 言い出して、その機を逃したのは大津さんじゃないですか。それが経営者の判断でしょ。ミスした時にはその責任を取るのが経営者なんですよ。いうことを聞いてくれないから面倒見れないじゃないですか。

大津綾香

いうことを聞くって。ま、

立花孝志

だから説明したことに理解してもらえなければ、これ以上アドバイスのしようがないですし。

大津綾香

私は説明してほしかったってそもそも言ったじゃないですか。

立花孝志

なんで9時間も、説明してまだ足りないんですか。

大津綾香

政治資金パーティー。そしたらなんか失敗すればいいと思ってって言ってたんですよ。その黒川さん追い出して私を追い出す。算段なのかなと思いました。

立花孝志

なんで追ひ出さなきゃいけないんですか。もうあなたたちを追い出してるのは私じゃなくて、この国政政党を応援してくれている人たちだということに気づかないんですか。僕は出ていくとはっきり言ってるじゃないですか。なぜ。出ていくかったら、別にこの党出ていっても自分でやっていく自信があるし、NHKの被害者を守りする自信があるからですよ。

立花孝志

僕は大津さんが目黒の区議会議員選挙で当選すればいいなと思った。それが1番ですよ。党首をお譲りしたっていうか、党首になっていただいたのは。できるだけ大津さんが目立って。

立花孝志

それだけじゃない、それだけの気持ちでしかないですよ。

会議参加者

大津さんの100万円の件ですけど、あの一、大津さんが100万円を自分の生活費のためにもらってってということで、それが公になったっていうのであれば、確かにそれで信頼をきられるかなと思うんですけど、え一、ここで、ま一、あの一、大津さんが発言したことから感じるのは、え一、政治家女子の他の方とか、え一、これからの政治活動等に当てるために、そのお金を元に、あの、分けていくというか、そんなような感じの発言がさっきちょっと入ってたので、そういったところは、せ、やっぱり動画を出して説明をして、できれば、あ、100万円もらうんだけど、そういった形で使う、自分の、え一、生活費が、自分の、あの一、私財とするためにもらうんじゃないっていうところであれば、そこは、え一、信頼感を失われるっていうことはないんじゃないかなと。やはり、ま、説明の動画が出せないってところっていうのは、え一、大津さんが、今、まあ、非常に悩まれてるの感じ取れるんですけど、そこを、ある程度、え一、しし、支持者の方とかに、あの一、信頼してもらってっていうところで、動画を出して、説明を、本人の口から説明するってい

うところは必要なんじゃないかなと思う。

立花孝志

もう。別に僕に止められたからって出せばいいじゃないですか。なんでそれで。僕に止めたから、僕に止められたから出さないって。意味がわからないですけど。

会議参加者

いや、少なくとも大津さんはそういう風に受け取ってるからだ。出した、出したかったけど出せなかったって話をしてて、

立花孝志

え。だって出してたからって別に出して自体が解決したとも思えないし。あれに、もう今ここになって、何を今更ガタガタ言ってるんですかって、さっから言ってるじゃないですか。もう結果決まってるんでしょ。このまま僕はもうやめますって何度も言ってるじゃないですか。だから、大津さんがこの後どうするかであって、過去のことを今いくら言ったところで、現状としてお金を返してくださいという人に、返すお金がないっていう状況にどうされるんですか。っていうことを前向きに話していかないと、どうしようもできないじゃないですか。

会議参加者

そこを大津さんが、例えばですけど、その、実際、これだけの、はい、入金計画と、あの、出ていくお金で、えー、収支としてはプラス、またプラスですよと。ところを、しっかり説明して、大津さんが、あの、代表者として、えー、こういった状況なので、代わりに資金を融資して、あの返済資金を、この入ってくる見込みなんでかき返して、その分同じだけ返さなきゃいけない部分を借りて、ていうとこをやれば同じことになると思うので、破綻するというのが大津さんだったら破綻するというのが決まっていることではないと私は聞いてて、そういった対応はできることだという風に思います。資金が大津さんじゃ、大津さんだったら、この政党助成金入ってこない。

大津綾香

私はね、説明できないことで、その間にいろんな私が説明したいことの、なんかその、違うのになつていう動画がずっと出続けて、それで印象操作されてると感じました。だけど黙ってました。動画が出せないから。あ、それを今はもう終わったことだからしょうがない、結果が全てでしょって言われても、私は話したばかり

立花孝志

だから。具体的に、じゃあ大津さん、どんな被害が出たんですか。少なくとも経済的な被害なんか出ましたか。

大津綾香

経済的な被害は。だからこの党にも。だから自分の家を貸したりもしてきたし、ずっとあの女の子のケアもしてきて、党の活動をずっと無償でやってきたじゃないですか。当たり前。で、別に。それなのに、大津さんは100万円もらおうとしてるっていう風に言われて、100万円もらおうとしてるから、こうやってただこねてるみたいになってるじゃないですか。そうじゃないのに、そういう印象操作をされてて、しかも動画を出せなかったんですよ。

黒川敦彦【ここから途中で参加】

前に。やります。

立花孝志

どうぞやってください。はい。

会議参加者

黒川さん、多分これ見てましたね、ずっと。

黒川敦彦

あ、すみません。あの、ちょっと私、まあ、体調も悪かったんで、今日は、ま、家にいたんですけど、ちょっとまあ、みま見てて、見ちゃいけなくなって来たんですけど。どうぞ。はい、座っていいですかね。

黒川敦彦

すみません、もう突如出てきたのでこんな格好で恐縮です。

黒川敦彦

あ、カットインしてすみません。ちょっと直前を聞いてなかったんであれなんですけど。あの、ま、私、元々ここに来なかったのが、ま、もっと落ち着いてゆっくり話すべきじゃないかなと思ってたので。

黒川敦彦

あの一、ちょっと落ち着きませんか。みんな。でまあ、アヤカさんもやっぱ女性だし、なんかこの場で決めろ決めろって言われると、やっぱりちょっとそれは辛いと思うんです

よ。で、彼女も別に党のことを考えてないわけじゃないし、まあ、私も、その、そういう気持ちでやってきたので、もちろん立花さんも、もちろん立花さんが作った党だから党のことを考えておいておられる、当然思ってますよ。

立花孝志
はい。

黒川敦彦
なので、なんかここどう、なんか今すぐ代表権渡せとか、なんかそうじゃなかったら取り付け騒ぎだとかってというのは、ちょっとそれは違うかなと思うんです。

立花孝志
もう。ただ、えー、代表金渡せと言ってるのはもう一昨日話、今日今朝までの話かな。取り付け騒ぎも現に起こっているので、会計事務所の方にも同席いただいていますし、経営の方にも同席いただいています、どうするんですか、これ。いくら返せになってます。今日

栗飯原美佳
これから、さっき 3000 ぐらいな、

立花孝志
はい、3000 万。2400 万円の資金で 3000 万超えちゃいましたと。どうでしょう。

黒川敦彦
いや、なので、まずは経営陣が、あの、落ち着いて心を合わせて、はい。っていう姿勢を見せることが大事かなと思うんです、はい。
ま、立花さんのお気持ちもわかるんですが、まー、アヤカさんの気持ちも、今日はもうすごく喋ったと思いますし、ま、ちょっと今日は、私はあまり、あえて、自分のことはもう、アヤカさんもだいふ、なんか事情説明されてたので、はい、なんか、1 個 1 個の議論について、あの、私も今日はあまりああでもないこうでもないとはいいたくないんです。あの、それより 1 回役員陣が落ち着いて。

立花孝志
めっちゃくちゃ落ち着いてますけどね。

黒川敦彦

いや、普通に見たらこれは落ち着いてる感じには見えないと思う。

立花孝志

あ、見えなから返金希望が来て取り付け騒ぎになってるんですよね。
一昨日の夜、こうなりますよって説明しましたよね。

黒川敦彦

いや、なので、あの、でもちょっとまー、私もその後、その、アヤカさんと LINE とかでしか話してないので。はい。あの、私も昨日別にそんなに長々アヤカさんと喋ってないから、ちょっと状況がわかってないかもしれないんですけど。はい。やっぱ彼女は その、ま、ここで書面にサインしろとかって言われて怖かったって言ってるんじゃない。

立花孝志

怖いでしょうね。知らないからでしょ。

黒川敦彦

いや立花孝志、知らないからというよりは。いや、だから、やっぱり自分が納得してないのに、立場がすごく上の立花さんからはい、今ここでハンコつけて言われると、それはもう理屈じゃなく、そこ

立花孝志

怖いと思うんです。だから、信頼関係があれば怖くないと思います。

黒川敦彦

いや、でも、信頼関係っていうのは、その怖いと思う前に醸成されるものであり、で、圧力をかけることによって信頼関係が今失われてるので、はい、ちょっとこれは落ち着きませんか。と私は思うんですよ。

立花孝志

ごめんなさい、落ち着いてないのは黒川君なんじゃない。落ち着いてますよ。冷静にここまで数字を出して。今 line いただきましたけど、急遽 5200 万円返してくださいという今年金希望者が来ています。ちなみにこの借金は返せと言われれば直ちに返すっていう、そういう約束で借りていきますので、これ返さなければ出資法違反とかでと持っていかれる可能性すらあるお金です。

黒川敦彦

いや、それはそうだと思うんですけど。

立花孝志

そうね。だからこそ、こんな危険な状態を大津さんに置いておくのは、これは僕としてはよくないと思う。

黒川敦彦

あの、立花さん。でも、それは。俺はここで劇場型のなんか立花支持者向けのパフォーマンスを作って、あやかさんにおりよってという圧力をかけるのは、俺は間違ってると思います。

立花孝志

違ってるかどうか知りませんが。

黒川敦彦

いや、俺は間違ってると思います。

立花孝志

えっと、冷静に言ってるじゃないですか。

会議参加者

じゃ、すみません。あの、あれですか。はい。こ、今、5000万まで書いてくださいっていうしてたんですけど、5500万で借金が10億4000、10億4000万。

立花孝志

はい。だっていうことは。

会議参加者

あ、あと10億円近くまだ会社が出てくる人たちが現れる可能性があるじゃないですか。だから、なんか、こ、心、落ち着かせて心を合わせてか、言ってる場合じゃないような気がするんですよ。

黒川敦彦

いや、でも落ち着かせない限り、次どうしようもないじゃないですか。最悪の場合は、も

うここで再建、回収フェーズに入って、債権者の皆さんに、あの、全てを委ねる。で、全ての経費を切って淡々と返し続けるという案もあるっていうのは、ま、立花さんのご説明された通りだと思うんですよ。それ。ま、そうなるというパターンもあるし。で、ここは冷静にこの財務状況っていうのを、ま、まず役員人及び党のコアな支持者が冷静に考えるべきだと思うんですよ。これで借りたって債務超過ですよ。そうじゃなくて、じゃあ借りずに出資なのかどうなのか、そういうことも含めてまず冷静に考えるべきだと思いますけど、それは冷静に現実を見た場合、冷静に見てるんですよ。

立花孝志

だから、あの世の中の人、黒川さんが前、オリーブの木で1億円を借りて、それで選挙0.4パーセントぐらいしか取れずに、1億円を借りたまま、で、その後、まあこの役員報酬も、130万円、役員報酬ではなくて政治資金としてほしいと。役員報酬で出せば税金も払わなきゃいけないし、差し押さえされるっていうこともおっしゃってましたよね。

黒川敦彦

はい、申し上げました。

立花孝志

だから、そのような方がいくら言っても、そういう人は役員、人から追い出せというのが多くの支援者の考えであるっていうことはご理解いただけないんですか。

黒川さんがいるから安心できないっていう声があるっていうのはご理解いただけないんですか。

黒川敦彦

すいません。私がいたのはこれまでもずっとなので、この取り付け騒ぎに私のことが直接関係あるとは思えませんけど。

立花孝志

だから、黒川さんが。

黒川敦彦

立花さん、すいません。その、ちょっと問題のすり替えはやめましょうか。いや、すり替えですよ。はいはい。はいはい、どうぞ。

会議参加者

あの一、だから、あの、いろんな、なんね。印象操作。あれ、印象操作的なことが起きてると思うんですけど。はい。えっと、ちょっと全体見て、あの、黒川さんの大津さんも、あの、この間1本も、なんか配信的なことは。それは、その、全体を排除して自分で止めたのか、それともあの、立花さんから指示があったのかと。

黒川敦彦

いや、全体に配慮して、中での話が、方向が決まらないのに出すべきじゃないと思ったから出してないんですよ。そう、twitterとかで何度も出してますよね。関係者で協議しているんで、協議が終わったら出しますと。

会議参加者

立花さんはそういう配慮はなさなかったいうところですね。
だから、全体にこう、印象操作みたいなことが出されて、会にはすごくあると思います。

立花孝志

ごめんなさい、会にも何も。取り付け騒ぎが起こる理由は明らかにこれまで約3年、4年ぐらいかな。代表者が私の時にはそのような不安はなかったんですよ。

会議参加者

ところ、いや、あの一、政治資金パーティーの件がありましたよね。それで取り付け騒ぎが起きたのか、それとも政治資金パーティーを止めたことによって取り付け騒ぎが起きたのか。そう。わかる。

立花孝志

それは、というのは、わかりません。その各出資者が、出資っていうか、お金を貸してくれてる人たちが、どういう判断のもとに今日これ、今日5200万、これまで2500万ですから、7000万円もお金を返してくれっていう方がどのようなお気持ちで返してくれって言ってるかはわからないし、1人1人がそれは意見も違うでしょ。
現実として、結果として、大津党首が今代表者である以上は、お金を貸したくないから返してくださいという意見が出てるのが答えではないんですか。

黒川敦彦

立花さんすいません。それ、大津さんを悪者にするのは。それは違うと思いますよ。立花さんが選んだことですから。

立花孝志

はい。だから私、別に悪いものにしたっていうよりも、自分が悪いものじゃない。僕がお
大津さんを、

黒川敦彦

いや、大津さんに変わったから取り付け騒ぎが起きたって、今やっぱり印象操作してます
よ。

立花孝志

印象操作なんですかこれ。

黒川敦彦

私はそう思います。

立花孝志

印象操作だと思う人、手を挙げてみてください。1人、2人、3人、4人ですよ。

黒川敦彦

手上げづらいですよ。立花さん。そんなの。いや、こんな顔見えてるところで手なんかあげ
れるわけじゃないじゃないですか。が

立花孝志

印象操作がないと思うあなたが1番落ちついてないでしょ。だからね、印象操作がない、
印象操作だと思う人は印象操作だと思う人で集まればいいんじゃないんですか。なぜその
対立するような状態で一緒にやろうとするんですか。何も。気が合う人同士でやればいい
んじゃないんですか。グループ仲間なんだから。どうしてそこに。

黒川敦彦

え。でも、政治家女子をこれから党として伸ばしていくって言って、アヤカさんをそのリ
ーダーに選んだんですよ。

立花孝志

そうですね、はい。

黒川敦彦

で、それは少々のことでもトラブルが起きても、やっばその人たちにもっとやり切らせるべ
きだったと思う。私は思いますけど。

立花孝志

やり切らせるだけのものだったらいいですよ。やりきらせることができないので。

黒川敦彦

いや、やり切らせてないじゃん。

立花孝志

ちなみに、だから僕、やり切らせてるじゃないですか。僕もう引いてるから。

黒川敦彦

いや、引いてないじゃないですか。今日、今日の記者会見設定したの立花さん

立花孝志

だから今日で引きます。初めて今日、僕、事務局長やめますってはっきり聞きましたよ。事務局長やめます、やめさせてください。もちろん、いただいている報酬は受け取りません。当たり前ですね。はい。ただ、これまで会計の責任をしてきた者として、皆さんに、国民の皆さんに、特に出資者に、あの、まさに説明をする義務があると思ったんで、今日は、これは立花孝志が、あー、説明する会として、党としての会はやめてやらせていただいている。はい、

会議参加者

どうし。あの、確認させていただきたいんですけど、先ほど、冒頭の立花さんの説明の時に、黒川さんと大津さんが出した、あの政治資金パーティーについての説明動画が出た後に、えー、返金希望の連絡が来たみたいなお話あったんだと思うんですけども、その、その事実はなんですか。

立花孝志

えーっとね、正確に言うと、僕の記憶ってか、まあ間違いないと思うんですけど、まず私から大津党首に、あのー、代表権が変わった時には3件だと、聞いてます。3件。100万と300万と。

粟飯原美佳

まあ、100万とか。

立花孝志

ひゃ、1400万の3件だけだったので、ま、それは十分想定範囲内、むしろ少ないかなと思っていました。で、その後、次の1000万円で来たのが、あー、お2人が動画を出した、翌日でした。

会議参加者

やっぱそうだ。ま、なんか、いま、因果関係証明するのは難しいんですけど、やっぱりそういう事実があると、印象操作じゃないんじゃないかなって僕は思います。

立花孝志

だって、こんなのは、印象操作と思うかどうかは、それぞれの。

黒川敦彦

まあ、すいません。それで、1億円の返済希望が来たんだったら、それはまあそれ自体が問題だと思うんですけど。はい、そうではないわけですよ。で、その後の返済希望は、私は役員陣が割れていることよっての返済希望だと思いますよ。

立花孝志

そうですね。そうだと思います。だから、やめましょうって言ってます。新しい役員にやってもら方がいいんじゃないんですか。って提案してるだけですよ。そもそも役員陣とおっしゃいますが、党の役員誰か知ってますか。

黒川敦彦

え。綾香さんと私。

立花孝志

違いますよ。綾香さんだけですよ。

黒川敦彦

あー、は。やや。規約上そうですね。

立花孝志

はい。規約上もそうですが、はっきりと言ってますよ。独裁でいきます。私の独裁をそのまま大津さんにそのまんまお渡しします。

だから、この党の役員は大津綾香さんただ1人なんですよ。

黒川敦彦

そしたら、あやかさんが怖いって言うことはやらない方がいいんじゃないですか。

立花孝志

いや、何も言ってないじゃないですか。説明してるだけですよね。

黒川敦彦

いやいやいや、怖いって言ってたと私は理解してます。で、プレッシャーをかけられて怖いとアヤカさんは言ってたと私は理解してます。

立花孝志

だからそれがなんかの罪とかなんかなるんすかね。ちょっとようわからないんですけど。言ってること言ってる黒川さんがおっしゃってる意味が全くわからないんですけど。あの、セクハラとかパワハラの話をしてるわけじゃないでしょ。ここ。

黒川敦彦

アヤカさん、なんかコメントありますか。

大津綾香 1時間53分22秒

まあ、その、政治家女子、こうやって盛り上げてきて、なかなか、神奈川県知事選出たり、大阪府長選出したり、色々盛り上げてきたのに、こうやって問題が起きてから、あの一、政治家女子は不安定だとか、せ、あの、なんかNHK党の方が風が吹いてるとかいう風に言って、私に知らない間にみんな移動したりとかいうことがあったんですね。だから、そういうことも含めて、あの、私はこう言うことをコロコロ変える、政党名をコロコロ変えるとか、そうやって人をすぐに切り捨てたり、問題が起きたら、黒川さんとも長くやってらしたのに、こう、人格否定をしてなんか回るみたいなことが、私はとても怖かったので。だから、私はこのままこの仕事をやっていきたいなって思っていたから、本当に頑張ろうと思っていたので、こういうのを続けられるのであれば、それをちゃんと書面にしてくださいと。で、それが、100万円あげるから、じゃあ動画を出すなど。で、党首でいてくれないかって言われたから、私はそれで代表移すならっていう風に言ってきたの。で、私はそもそも立花さんの信頼で成り立ってる党で、そんなことは理解していますと。立花さんが軸で、立花さんが決めたことが、あの、全て反映されるし、それにみんながお金を貸してくれるってことは理解してるから、私がどうしたいとか、そういうことじゃないもちろんじゃないですと。代表、わたしますと。だけど、私はこの職を続けたいけど、立花さんの最近のこの行動とか、いろんなこと見てて、私、とても怖いですと。だから、書面にしてくださいと言ったのであって、別にそれはお金が欲しいとかいうわけでもないのに、こういう紙にも黒川と大津いくらか書いたり、私は動画を出せないのに、なんか

いろんなこと言われたりするのがとても悲しくて、だから私は、どう説明したらいいのかわからないけど、献金パーティーのことも、黒川さんのことを信頼していろんなことを任せてるんだろうなと思ってたし、黒川さんのこと、ここまでね。あの、なんていうか、それこそ印象操作して辞めさせるんじゃないかっていうことはとてもびっくりしたんですよ。

大津綾香

だから私はこれを続けていきたいし、党のためにやってききたいから、だから書面を結びたいと。で、浜田さんの昨日の動画でも数日後にっていう風に言ってたので、私はその書面を用意するように頑張ってたのに、今日の昼いきなりもう会見するからって言われて、もうなんかyoutubeとか、み、見たら、切り捨てなきゃいけないものは切り捨てなきゃいけないと言われて、私はなんなんですか。と思いました。

会議参加者

大津さんの気持ちとか、ま、色んな話っていうのは大体かなり聞かせていただいたんですけど、現状を解決するためにはどうすればいい。

大津綾香

あ、代表渡すことです。もちろん。はい。

会議参加者

で、それで決定？

大津綾香

決定でいいんじゃないですか。だって当たり前ですよ。私がここで自我を出して、私は感情のために私はとどまります。乗っ取ります。なんていう訳ないじゃないですか。

立花孝志

同じように書面が必要なんですか。今、代表権を渡すために書面が必要だと、トントンと述べられましたが、齊藤さんに代表権を渡すために書面が必要だとお考えですか。

大津綾香

なんかこの数日のこういう印象操作によって、私、やっぱりこういうお金をなんかがめつく取ろうとして、居座ろうとしてて、乗っ取ろうとしてて、黒川さんとはなんかすごく、きょ、共謀してるみたいな印象を与えていて、それを訂正できなかったんですね。

立花孝志

それ共謀してませんか？詐欺の動画を作られてませんか？

大津綾香

詐欺ではないです。私は、これは言葉じりがおかしいとか、自分が訂正したかったことを訂正できなかったじゃないですか。

立花孝志

僕が詐欺だと思うだけでね。別に、あの一、それが法律上の 246 条の詐欺かどうかはわからないですよ。

黒川敦彦

いや、私ははっきりと詐欺ではないと思います。

立花孝志

だから、そのように思うのは僕、全然いいと思いますよ。何度も同じ話をしてるよね。
で、そういう原因を作ったのは少なくとも俺であり、黒川くんであり、大津さんなんだから、みんな潔く身を引くのがいいのではないのでしょうかと。

大津綾香

うん

立花孝志

うん。

会議参加者

えっと、すでにもう 5000 万以上とか。あの、希望があるってことは、今の現預金が 2000 万 400 万だからしかないってことだから。そういえば、まあ、債務超過みたいな、その、現金だけだっというんですね、入金予定、あ、マイナスで、こういう状況になってしまってるんだから、じゃあ、ここで、今日、書面、あ、えー、代表、今日変えなといけなくて、今日と明日だったら、えー、今日は、ああ、あの、セーフだけど、明日はアウトっていうことはないと思うので、やはりもう

立花孝志

アウトなんですよね。

会議参加者

いや、だから、だから、そこは、マイナスなっていうところは変わらないので、そこはやっぱり大津さんのところはしっかりと書面とかをきちんとして、えーな、あの、こういったことで、ちゃんとは、えー、新しくサイトウさんに代表を移すという形で、それはさ、やっているのです、やっぱり弁護士さんにちゃんと確認して、書名をきちんとして、これで問題ないですねっていうところを、えー、確認した方がやはりいいのではないかと思いますし、あとは、やはりその政治資金パーティーのあの出したものは、私もあれはやったでは有効だと思うし、詐欺だというのは正しいと思います。

立花孝志

だから、そこはちょっと大事なところで、詐欺に近いと思いますよね。どちらの。我々は、

会議参加者

いや実際やったらまずいと思いますよ。まずいですよ、あれは。つばさの党が主催で、政治家女子48党の公認の人にお金を渡してやるとか。それおかしい。

黒川敦彦

ちゃんと書いたじゃないですか。で、それ立花さんの指示ですよ。

立花孝志

もう。まあいいです。もうとにかくはい。

黒川敦彦

え。綾香さん。そうですよね。そうです、そうですよ。

会議参加者

まあ、そ、

黒川敦彦

そこが責任を、綾香さんとか、法律がわからない人に押しかぶせるのはダメだから。黒川くん、責任取るんだったら、つばさの党でやったらええやん。

私はそう言ったと。録音はないですけどね、

立花孝志

つばさの党でやったらいいじゃないかって言いましたよ。ただ、

黒川敦彦

私は。集まったお金全部人に回すのに、どうやって私がそこでお金儲け。

立花孝志

ごめんなさいね。だからね、黒川くんね、これ別に裁判をしてるわけじゃないんですよ。何かどれが正しいとか言ってるわけじゃなくて、この1つの組織が、国民や出資者、まあお金をしてくれる方がご覧になっていて、このままの体制で続けていいかどうかの判断をしていただく場であってね。

黒川敦彦

いや、だから詐欺ではないと私は思いますよ。どこが詐欺なんですかって聞いているじゃないですか。

立花孝志

その主張に関して、もうすでに何度もそういう主張してきてるんでしょ。

黒川敦彦

いや、立花さんが言ったんですよってというのは、私ここで初めて言いましたよ。

立花孝志

ま、まあ、いずれにしても

黒川敦彦

それはあやかさんだって言えなかったんですよ。だから

立花孝志

もう答え出ちゃってるから。3人潔く。240万、100万、130万もらえずに離れたら、1番残った人に好印象を与えないですか。

会議参加者

なんな。何を。やめなきゃいけないってことじゃないと思う。それこそな。

立花孝志

あの、全然残ろうって人はどうぞ残っていただいていた方がいいです。てか、僕にそんな辞めさせる権限何1つないから。だから僕はごめんなさい、説明だけをしましたので、ちゃんと引き継ぎをしたので辞めさせていただきますっていう、今日はそういう挨拶ですよ。

会議参加者

だから大津さんはきちんと、やっぱり今日いきなりはんこをそのままして、あの一、代表をね、この今のわずかな時間だけでこう急に判断して、齊藤さんに譲る、齊藤さんに譲るっていう方向は決めるっていいと思うけど、そこについてはちゃんと書面でやるとかしないって。やっぱり、あと、またこれは禍根というか、

大津綾香

私はこうやってすごく頑張って、あの政治家女子、女の子1人1人を救おうと思ってきたし、党としての活動もしながら、こうやってあの表に立つことで、叩かれながらもやってきました。党のことを本当に思っていたからです。だから、そうやってあまり言わないでって言われたこと、その動画は出さないっていうのを出さないでいました。訂正したいことも言いたくなかったです。だけど、なんかこうやって追い出されて、

大津綾香

選挙前になんかこういう傷を負わされて、なんか何もしてない無能な人間みたいなの、すぐこの印鑑持ってこなければいけない今日だったっていう風に言われでも私はとてもびっくりです。

大津綾香

だから、こういうことが起こることが怖かったから、書面にして、ちゃんと党のために働きたいと思ったんです。だから、それは最初からお金は別にそもそもなんか契約の前の、もらう契約じゃなくて、私はただでやってました。え。その、自分の家も貸したし、家賃とか、その、光熱費とかかかっているのも全部30万近くかかっている。別に私負担してました。

だけど、別に特にそれについて何も言っていないのに、こういうガメツイ100万円もらいたかったんでしょ。とかそういう風に印象操作されて、選挙にも影響が出て辞めさせられて。党のことも、頑張ってきたのにそれも全なくなるんだと。私は本当、なんでそんなことするのかなんていう気持ちです。こんな突然だから私はその、数日前に決めたって言われても、この数日かかるってね、この浜田さんとかもことでも昨日言っていたじゃないですか。だから親もね、ちゃんとそういうことをしなさいって言うから、ちゃんとその書面をちゃんと弁護士の方に作ってもらって、ちゃんと働く契約しようと思ったんですよ。だ

から別に私はここ党にはお金がないとか言うなら別にいらないし、でも、立花さんが自分の給料の中から払うとか言ってたことだし、私は印象操作されてると感じていても、別に動画を出さないし、言いたくても言わないけど、別にその口止め料なんだと思ってました。だからまあ、別にそれでお金を貰うんだこの人って思うのであれば、別にいらないです。目黒区が受かればいいので。私はその為に活動してきたし、そのためにやってきたけど、途中から国政政党になって、なんかNHK 党の問題も発信していくようになったし、そのためにかけてきた時間とか、いろんなことたくさん費やしてきました党のために。それですごくこうやって全ての責任を終わらされて、あ、追い出されるんだっていうことに、この1日ですごくなんか悲しいです。単純に。だから私もね、じゃあ何がしたいの。こんなところにとどまって印鑑渡せばいいじゃんと思いますね。印鑑渡さないと、党としての活動が維持できないからそうしますよ。だけど、私は、本当はこの活動を続けたいんですよ。私は悪者にされずに、普通に今まで頑張ってきたこと続けたいし、1人1人の女の子にすごく勝たせてあげたいと思って頑張ってきました。だから、それを戦略を立ててくれた黒川さんの戦い方は、それはね、党としての頑張らないで勝つっていう戦い方とか、お金をかけないで勝つとか、最低限で頑張るってことは違ったかもかもしれません。だから、お金がかかると思いました。だから、自分がお金をかけたい子は自分で稼がなければいけないと。で、選挙パーティーができるんだと聞いたので、選挙パーティーをして稼げばいいのかなと思いました。ただ、この選挙前の4月2日の大事な日曜日にそれをやることとか、それがいくら集まるのかわからないのにやることとか、それはおかしかったと思います。なんか、そういうことも全てで動画にしたかったです。でも、このタイトなスケジュールの中で、いろんなことをいろんな人にお任せして、それこそヤマガミさん、いきなり雇い入れた人で、どんな人か私もわからないけど、ああいう発言をされというような人でした。でも、私たちは、全てのLINEを見てもらえればわかる通り、そういう風に立花さんを陥れようとか、そんなこと1回も話したことがないし、なんかそういうところだけ切り抜かれて、まあ立花さんもすごく傷つかれて、あの、嫌だなと思ったんだと思うんですけど、それでも私はそんなことに、私たちの、その中にいた人たちも全くそういう気持ちはなく、1人1人の女の子の資金を稼いであげて、少しでもYoutube代とかを稼いであげただけなんです。だから、私が言いたいのは、私は、本当は、この党の活動を続けていきたいです。こうやって、なんか数日の間にとっても何も発言できなくて。なんかいろんな人に言われたり、それこそ黒川さんはなんで辞めさせるんだ。お前に権限があるのと言われてました。

でも、私は、それはとても辛かったです。やめさせたくなかったです。それはもちろんね、色々協力していただいていたから。でも、私たちがその党の名誉を傷つけるようなああいう動画って、それを、でも訂正したかったけどできなくて。で、私も結果的にそういう風に、あの取り付け騒ぎのようなことになってしまったことが、だから私が責任を負うことにすれば、だからそれを、代表を移すってことは、もちろんそのつもりです。だけ

ど、その書面を用意するっていうことは、もうちゃんと話し合ってたことだったのに、今日になってそういう風に言われて。私、そうやって全てを奪われて、なんか無能でお金に固執しててっていう、そういう印象を与えたまま存在するなんてことを。辛いです。選挙のために積み上げてきたこととか、党のために活動してきたことがあったから、すごく悲しいだけです。

黒川敦彦

いいですか。すいません。なんか、あの、ちょっと、政治家女子のメンバーで来てる方、その、あやかさんとかがどうやってきたかとか、もしコメントしてもらえる人とかいないですかね。

会議参加者（政治家女子）

えっと、私は、あの、大阪府知事に立候補して、あの、本当に、私も、やっぱり、この政治家女子のメンバー、ほんとに、こう、盛り上げていきたいってという思いで、あ、私も、この、政治とか選挙が何もわからない中で、あの、みんなと一緒に頑張ってきました。で、中でも、ほんとに、あやかさんは、やっぱりみんなが、あの一、本当に、のびのび、あの、無理なく活動するにはどうしたらいいかっていうことを、本当に一生懸命考えてくださっていて、アヤカさんが、えっと、党首になってから、あの、ミヤベさんも一緒に、その一、政治家女子のミーティングの、あの一、アジェンダとかをこう作って、みんなが意見しやすいあの運営の方法を考えて、事前にその内容をあのグループLINEで共有して、みんなが話しやすいような場を作ってくださいたりとか、すごく本当に党の、党全体のことをもって、あの一、活動されていることを感じて、で、私も、その大阪府知事立候補も、やっぱりその政治家女子として盛り上げていきたい思いもありましたし、もちろん立花さんのお考えが私はほんとに大好きで、あの、これからも、なんでしよう、どんなことをしてくださるのかっていうことをすごく思って、本当にその立花さんがあって、で、ま一、大津さんが党首でっていう、本当にこの、平和な、っていうのもちょっとおかしいんですけども、平和な政治家女子が私はほんとに大好きで、あの大阪府知事、立候補させていただいたことも、本当にすごい貴重な経験をさせていただいて、本当に私は、この政党をより多くの人に知ってもらって、かつ、その政治、選挙に興味のなかった人たちに興味を持ってもらえるようにどうしたらいいかっていうことを考えて、いつもやっていました。多分、政治家自身の女の子たちはおそらくそういう思いで、ほんとに純粋な思いでそれぞれ行っていて、かつ、立花さんも、ほんとに、黒川さんも、あの、誰も、悪意はないと言いますか、本当に、誰かを陥れようとか、あの、この、政治家女子であったり、旧NHKと党、もちろんNHK黨員の方々も、ほんとに、なんていうか、あの、誰か

を貶めようとは、ほ、ほんとは、誰も考えていなかった中で、あの一、なんでしょうね、ちょっとずつ、なんかこう、僻み、ひえっと、歪み、歪みが生じてしまって、なんか、みんなが、こう、ちょっと、疑心暗鬼になってしまっていたところがあるのかなっていうのは思いました。ただ、その中でも、本当にアヤカさんは、一生懸命に、その、女の子たちのことを考えて、あの、うまく、その、立花さんや黒川さんとの取り次ぎと言いますか、すごく私たちに明瞭にお話をしてくださっていることを感じてました。その架け橋になってくださっていたなっていうことは、私は思っていました。

会議参加者（松田みき）

すいません、いいですか。

立花孝志

どうぞ。ま、松田さんです。

会議参加者（松田みき）

今回の、まあ、今、立花党首であつたりとか、大津党首、黒川幹事長とかは元になるのか、ちょっとわかんないですけども、あの一、立花党首は、辞めるための報告とひきつきをしているだけだと思っているんですね。で、大津党首は、辞める意思があるのであれば、あの、ご自身で、何度も何度も繰り返しおっしゃっているように、あの、期日を定めて、早急に書面と印鑑を用意すべきだと思います。で、そうしますと、返事をすれば終わることだと思うんですね。で、あの一、大変厳しいいい方で、申し訳ないんですけども、泣きながら、ちょっと感情的になって、あの、ご自身の弁明を繰り返すことであつたりとか、政治家女子48党から立候補予定の方に、あの一と大津党首がどれだけ頑張ってきたか。けど、それは間近で見てるからわかると思います。でも、わざわざここで言わせるっていうのは、黒川幹事長や大津党首が反対していた印象操作。まさに印象操作だと思います。立花さんを悪人に見せるための印象操作だと私は感じるの、これ以上その政治家女子48党の候補者の方から大津党首の頑張りを述べるのは全くこの会議に必要なとは思わないのでやめていただきたいです。

会議参加者（政治家女子）

1つ言いたいのは、私は決して立花さんを、あの、悪者にしたいと思ってないです。それだけは。ごめんなさい。私が涙ながらに喋ってるのがよくないとは思いますが、私は決してそうは。

立花孝志

あのもちろんそう思ってないよ。だから、あの、これね、黒川くんも大津さんもみんな一

生懸命やって、誰か貶めようって事はないのよ。それはもうわかってる。ただね、価値観の違いによるものなんですよ、今回の件は。だから、その価値観の違いがこう、周りから見たら、ちょっとそれ、立花さんと相当価値観が違う人が今代表者をやってるから、それだったらちょっとここにお金を渡すわけにはいかないっていう人が出てきちゃったっていうだけのことだと思うんですよ。要は、自民党に献金してたら、急に自民党のトップが立憲民主党の人になったら、自民党の人、お金貸した人から、お金返すようになるんじゃないですか。別に、だから黒川くんの主張がおかしいとか、そういうこと言ってるわけじゃないんですよ。で、まあ、ちょっと蒸し返しになって1つ申し訳ないんですが、僕はこれ、これまで、まー大きく問題を止めてきてましたが、個人情報の漏洩のことについて止めてましたが、これ結構大きな問題ですよ。ここについて御二方はどうですか。何か知ってること。板橋区の個人情報が漏洩してること、目黒区の個人情報が漏洩してることについては何か弁解ありますか。目黒区の個人情報お持ちなんですよ。NHK 党の撃退シール。それは誰から許可を取ったんですか。すごく大きな問題ですよ。

会議参加者（齊藤忠行）

よろしいですか。

立花孝志

どうぞ。はい、

会議参加者（齊藤忠行）

NHK 党の齊藤です。以前の政治家としての定例会の中で、えー、大津党首は、えー、NHK 党の総会の中で、え、立花さんがいいというような発言をした、というような発言をしていました。で、私、その後、えー、定例会の内容は全て youtube にももちろん記録されていますから、全て見直して、で、えー、そういう発言は1つもなかった。で、その後、同じ板橋から出馬予定の松浦さんに直接お話を聞きました。はい。そしたら、1月の最初の、えー、記者会見。みんなが、政治家女子がみんな一度に集まって、1番最初に集まった時に、え、立花さんから許可を得たということ、これは立花さんではなくて、大津さんが立花さんに許可をあげて、で、そういったことを松原さんが共有したというようなことで、LINE の文章にも今残ってますけれども、ま、そういうこともあったということは一応事実として報告しておきます。

立花孝志

私は、この件は大津さんからは黒川さんからオクケーをもらったと聞きましたよ。ま、言った。言わないですけど。いやいや、黒川さんはそれをもらってもいいって言ってたから、大津さんはその指示に従ったと。僕は、僕は大津さん、

黒川敦彦

まあ、私も別にもらえるんならもらったらい。でも

立花孝志

入るんならって、ダメに決まってるじゃないですか。え。なんで。いや、で、

黒川敦彦

候補者じゃないんですか。

立花孝志

明確に NHK 党の立候補予定者が先にいる場合は、政治家女子 48 党の立候補者雨にはその個人情報や渡してはダメと 当たり前のことを言うだけなのに、今の黒川幹事長の言葉で分かる通り、候補者だからもらったもいいということだということだってということで白されるでもいいですね。

黒川敦彦

いや、白じゃなくて、認識も、もらえるんだったらもらったらいじゃないですか。問い合わせてみたらどうですかってという意味ですよ。

立花孝志

いるわけがないじゃないですか。それが幹事長としての失敗。あの一、不適切な。あの、

黒川敦彦

私が許可すべきものじゃないので、もらえるんだったら、いや、問い合わせてもらったらいじゃないですかって私が言うのは当たり前です。

立花孝志

もらえないものです。

黒川敦彦

いや、でも実際、だからもらえちゃってるじゃないですか。

立花孝志

それは、だから、虚偽の発言が。虚偽の説明があったからもらえたんですよね。立花さんの許可を取ったから。

黒川敦彦

すみません。私は少なくとも虚偽の発言をしてもらいに行けということを指示したことは、そうですね、絶対にありません。絶対にありません。

立花孝志

これは、黒川さんはそう言ってないと思いますよ。ただ、今の認識としてね、NHK党の候補者がいるところには、その個人情報、政治家女子48党には、ま、本人は渡せませんっていうことを会議でも何度も言っていますよ。何度も言ってます。そんなの。いや、だから、

黒川敦彦

もっと前の話です。会議でも何度も言いますよって、前の時には多分言ってますよ、うん。

立花孝志

あの、とにかく、これも1つの事例なんです。別に責めてるとかじゃないんです。そういう1つ1つのことが皆さんの不信感を募らせてるんですよ。

立花孝志

だって個人情報が漏れているんだから、それに関しては本来追求しなきゃいけないものを、今この段階でもあえてもここは流しましょうって追求せずに来たでしょ。

会議参加者1

それは刑事訴追できるんですか

立花孝志

わかりません。

黒川敦彦

いや、ま、組織内のことです。刑事訴追になることではないと思いますが、あの、組織内でどの候補に出すかっていうのを組織の中で決めてることなので、ま、別に刑事的な違法性はないと思うんですよ。

立花孝志

個人情報が全くのボランティアとスマホの画面に出てくるっていうのは問題ないですか。

黒川敦彦

いや、それは問題だと思いますけど。

立花孝志

それが出てきたんでしょ。会議の時。このか、この会議の時いなかった。いましたよ。

黒川敦彦

そうでしょ。別にそれ、すいません、私が指導してばらまけなんて言ってないじゃないですか。

立花孝志

そうですね、それはそうなんですよ。だから、これも何度も言いますが、裁判ではないのでね。あの一、そういうも

黒川敦彦

よな。また印象操作合戦ですか。もう印象操作合戦はやめましょうよ。

立花孝志

じゃあ、終わりましたよ。

大津綾香

そもそも私が党首になる前に起きたことですよ。しかも。

立花孝志

そうですね。はい。だから、それは党首になる前においたことだから、政治家、それをね、当然責任は全て僕にあるんですよ。ただ、今、黒川くんが当時幹事長で、そういう認識を持ってたことがわかりましたよね。で終わりじゃないですか。

立花孝志

認識を持ってたかわかったら、それで終わりじゃないですか。それ以上なにをいうんですか。

会議参加者

今だ、だからと黒川さんが言ったのは、もらいもんだったらもらった方がいいじゃないですか。かっていうことで、それについては黒川さんが。とにかくダメだった。あの、本来ダメだ

けもらってこいって言ったわけじゃないかも。

あ、いや、そうですよ。黒田さんを印象悪くしてる印象操作だった。私は、

立花孝志

あの、ごめんなさい、この場で一応操作ならどうでもいいじゃないですか。なぜ印象操作というものにこだわるんですか。そう、要はね、黒川くんはこの政治家女子48党の立ち上げの時から、ちゃんと党の役員会にも出ていてNHK党の候補者がいる中で、政治家女子48の人たちが出るわけだから、NHKとから先立候補する人からすれば、とてもとても、まー、ある意味邪魔という言い方するか、迷惑な候補者になるわけですよ。だから、その時の条件として、例えば具体的には、板橋区は斉藤君がいるから、板橋区からの立候補予定者に関してはNHK問題はやりません。

そして、えー、撃退シールの個人情報についてはお渡ししませんっていうことをちゃんと役員会で何度も共有しているし、しています。あ、それが僕が黒川くん徹底できていなかったっていうことじゃないですか。

会議参加者

そ、それで言えば、その当時の責任者は立花さんだから、黒川さんよりも責任あるの。

立花孝志

だから、責任をとって私やめると明確に申し上げてるじゃないですか。もうこれ以上、私は別に逃げも隠れもしないじゃないですか。もう選挙にも出ないしね。国政政党の党首ももうやめたし、国政政党の事務局長も辞めて、月240万円のお金をもらうのもこれで終わりにさせていただきますと。それがけじめの取り方なんですよね。だから、最も困らないように、私の知っている情報を、現大津党首にお伝えしている。そして、えー、国民の皆さんであったり、お金を出していただいている方、もちろんNHKの被害者をお守りするというのが1番大事ですので、私は政治家はもちろんやりませんが、まあ、ま、政治家やらないとか、選挙には出ませんが、引き続きNHKの被害者をお守りする事に特化すると。

会議参加者

あの一、先ほど、えー、大津党首が100万円を、で、あの、渡すって言ったら、えー、断ると思ったら、100万円もらうっていうんで驚いたとか、そういったような発言をしましたが、そで言うと、私が、

会議参加者

あの一、立花さんと比べれば、劣るところもちろんあるのかもしれないけども、ご本人い

るし、頑張ってるなっていうのは、会見だったり、いろんな活動とかですね、色々な企画をして、じ、自宅、あの、スタジオとして開放して、みま、みんなに集まってもらって、毎日ライブ配信するだとか、そういうことをやってきましたよ。それで、その、それやってた当時、100万円をもらってなかったわけですよ。で、その、そこ、無報酬で、それだけが、自腹切ってまでやってたわけですよ。それに対して、立花さんは、100万円もらって、あ、あと、もうあなた100万円なんかもらうような人間じゃない、もうって、す、言いましたよね。みたいなの。いそ、そういったことを言ってて。それで言えば、なぜ立花さんの娘は実際実務今やってないんで、今切り替わって、なんか変わり、解雇されたのはここから切り替わってやる。だって、その時から20万っていう停止条件つけてあったらいいんですけど、今何にもやってない。今まで20万毎月払ってるじゃないですか。そっちの方がよっぽど詐欺的ですよ。

立花孝志

うん。だから、そう思う人はそう思えばいいじゃないですか。

会議参加者

だから大津さんに対して普通やめ

立花孝志

答えが出ているんだから、僕はこれ以上もうやめると言ってるわけだからね。

もちろん、うちの娘に20万払うかどうかとも全て大津さんが決められる状態なんだから。そうでしょ。

会議参加者

なんか批判をね、なんかそうするのがちょっとおかしいんじゃないですか。その

立花孝志

批判をすることは自由じゃないですか。別に何かで批判していけないんですか。皆さんそれぞれの意見があっているんでしょ。僕はびっくりしましたよって言うだけじゃないですか。なぜ批判しちゃいけないんですか。

会議参加者

でも、あの100万円っていうところが、今までちゃんと党首として、あの新聞や。

立花孝志

正解がないことに、まるで正解があるような話をしていくのはもうやめませんか。別にそれが悪いお金とか違法とか言っていないでしょ。あなたが、うちの娘が20万円もらうのおかしいっていうご意見もその通りだし、色々な意見があっというわけでしょ。で、その意見の中で、国民の皆さんがこれをご覧になられてどう思うかっていう話し合いをしてるわけでしょ。で、その結論としてっていうか、き、結論っていうか、今の事態、実態、現実に関今1億円ぐらいのお金を返してくださいっていう人が出てきていることにどう対処するのかを、もう権限があるのは大津党首なんだから、そこについても明確に回答されるような時間帯じゃないですか。

会議参加者

で、まあ、大津さん、その、えっと、借金の返済が来てるっていうことで、今のような状況が一般企業とかであった時とかだと、多分ですけど、えー、1度支払いは今2400もある。それを2400万、先に1番最初に行った人が払うとかではなく、1度支払いは停止します。で、債権者集会をします。今の状況、こういう状況です。え、誰か代わりに貸してくれる方いませんか。とかっていう対処考える。それで、お金を貸してくれるなんていう人が一切いなかった。だから、もうしょうがないので、党の業務は停止して、えー、今後の政党助成金か、は返すことに専念して、えー、しょ、党の職員とかもかい、解雇しますっていうような形でお金を立てないようにする。そういったようなことをするのは今の大津党首としての役割であって、それを、えー、今、あの一、速やかに、えー、齊藤党首に、あーな、齊藤さんに、えー、代表を移して、あとは、その、任せましたってやるものじゃないんじゃないかという風に、私はちょっと、でも。

立花孝志

ちなみに私もそう思いますよ。はい、どうぞ。

会議参加者

えー、ライターの手本さんです。えーっと、今回の取り次ぎ騒ぎで、ま、未払い金が出たということなんですけれども。はい。ガーシーへの未払いの報酬というのはどうなりますでしょうか。

立花孝志

もうそれは私とガーシーの個人間の話ですから。はい。ガーシーに対しては少し待ってくれというしかないでしょうね。

会議参加者

じゃあ、今後のガーシーの抱えてる裁判費用に関してはどうお答えしますか。

立花孝志

ガーシーの抱える裁判ですか。

会議参加者

はい。あの一、ミナミデ弁護士とかキムサヤの件です。
で、ミナミデ弁護士から確か訴えられてますよね

立花孝志

誰がですか。

会議参加者

いや、立花党首とあのガーシーがキムサヤさんやから。

立花孝志

承知してないですが。それ民事ですか。刑事ですか。少なくとも訴状が届いてないですし。まだ起訴状は届いてない。はい。警察からも何も来てないです。

会議参加者

わかりました。はい、以上です。はい。

立花孝志

だから全然この後、僕は十分話をいたしましたので、もうあとは大津党首の、まあ。いや、この会は別にこれで終わりでもいいと思います。私自身は終わりなので、特にこの後意見がなければ終わりにしたいんですが、いいですか。はい。じゃあ終わりにします。ありがとうございました。

以上